

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧  
P.2-5

< 第41週 >

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は2週連続で増加した / その他最新動向



注目すべき感染症  
P.6-9

< インフルエンザ >

第41週の定点当たり報告数は12.92となり、前週の値よりも大きく増加した



病原体情報  
P.10-14

インフルエンザウイルス 2009年5～10月 / ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 2009年



速報  
P.15-18

インフルエンザA(H1N1)pdmによる急性脳症



海外感染症情報  
P.19-21

パンデミック(H1N1)2009 短報: no.12 - 抗ウイルス薬と耐性能獲得の危険性、no.13 - 重症患者の臨床像



感染症の話  
P.22

< 今週はお休みです >



読者のコーナー  
< 今週は該当記事はありません >



グラフ総覧(41週)  
P.23-28



41週のデータ  
P.29-41



# 発生動向総覧

< 第41週コメント > 10月14日集計分

## 全数報告の感染症

注意: これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が集計の期日以降に届くこともあります。それらについては一部を除いて発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることになります。

感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを示します。

### 1類感染症

報告なし

### 2類感染症

結核217例

### 3類感染症

コレラ1例

感染地域: インド

細菌性赤痢4例

感染地域: 静岡県2例、ベトナム1例、インド1例

腸管出血性大腸菌感染症65例( 有症者38例、うちHUS 2例 )

感染地域: 国内65例

国内の多い感染地域: 福岡県17例、佐賀県5例、東京都4例、愛知県3例、広島県3例、長崎県3例、鹿児島県3例、北海道2例、福島県2例、三重県2例、兵庫県2例、岡山県2例

年齢群: 0歳( 1例 )、1歳( 7例 )、2歳( 2例 )、3歳( 2例 )、4歳( 3例 )、5歳( 2例 )、6歳( 2例 )、7歳( 1例 )、9歳( 1例 )、10代( 12例 )、20代( 9例 )、30代( 8例 )、40代( 4例 )、50代( 5例 )、60代( 1例 )、70代( 2例 )、80代( 2例 )、90代( 1例 )

血清型・毒素型: O157 VT1・VT2( 36例 )、O157 VT2( 7例 )、O26 VT1( 7例 )、O157 VT不明( 5例 )、O157 VT1( 1例 )、O26 VT不明( 1例 )、O91 VT1( 1例 )、O103 VT1( 1例 )、O111 VT1・VT2( 1例 )、その他・不明( 5例 )

累積報告数: 3,093例( 有症者2,089例、うちHUS 62例、死亡3例 )

パラチフス1例

感染地域: バングラデシュ

### 4類感染症

デング熱5例

感染地域: インド3例、インドネシア1例、パナマ1例

日本紅斑熱5例

感染地域: 広島県2例、熊本県2例、長崎県1例

日本脳炎1例

40代\_\_感染地域: 滋賀県

ブルセラ症1例

感染地域: インド

感染源: チーズ

マラリア1例

熱帯熱\_\_感染地域: ナイジェリア

レジオネラ症2例( 肺炎型2例 )

感染地域: 山形県1例、佐賀県1例

年齢群: 60代( 2例 )

5類感染症

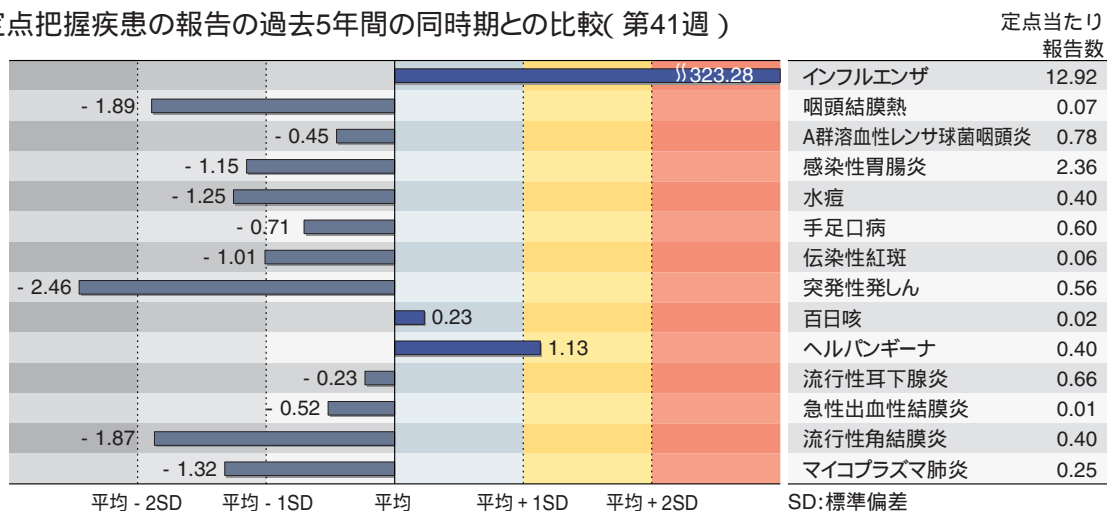
- アメーバ赤痢9例( 腸管アメーバ症7例、腸管外アメーバ症2例 )  
 感染地域: 宮城県1例、千葉県1例、大阪府1例、兵庫県1例、高知県1例、国内( 都道府県不明 )1例、中国1例、インドネシア1例、国内・国外不明1例  
 感染経路: 経口感染2例、性的接触3例( 異性間3例 )、不明4例
- ウイルス性肝炎1例 B型\_\_感染経路: 性的接触( 異性間 )  
 急性脳炎7例 インフルエンザウイルスAH1pdm 7例  
 \_\_年齢群: 4歳( 1例 )、8歳( 3例 )、9歳( 2例 )、10代( 1例 )
- クリプトスポリジウム症1例  
 感染地域: タイ/エジプト/エチオピア
- クロイツフェルト・ヤコブ病1例  
 孤発性プリオン病古典型
- 後天性免疫不全症候群10例( AIDS 4例、無症候5例、その他1例 )  
 感染地域: 国内6例、国内・国外不明4例  
 感染経路: 性的接触6例( 異性間4例、同性間2例 )、不明4例
- ジアルジア症1例 感染地域: インド
- 梅毒4例( 早期顕症II期1例、無症候3例 )  
 風しん2例( 検査診断例2例 )  
 感染地域: 東京都2例  
 年齢群: 25 ~ 29歳( 1例 )、40代( 1例 )
- 麻しん7例[ 麻しん( 検査診断例4例、臨床診断例2例 )、修飾麻しん( 検査診断例 )1例 ]  
 感染地域: 国内7例  
 国内の感染地域: 広島県5例、群馬県1例、国内( 都道府県不明 )1例  
 年齢群: 0歳( 1例 )、15 ~ 19歳( 2例 )、20 ~ 24歳( 2例 )、25 ~ 29歳( 1例 )、30 ~ 34歳( 1例 )  
 累積報告数: 668例[ 麻しん( 検査診断例214例、臨床診断例279例 )、修飾麻しん( 検査診断例175例 )]

( 補 )他に細菌性赤痢1例、マラリア1例の報告があったが削除予定。また、2009年第40週までに診断されたものの報告遅れとして、細菌性赤痢1例( 感染地域: ベトナム )、オウム病1例( 感染地域: 大阪府\_\_感染源: ドバト )、日本紅斑熱6例( 感染地域: 三重県4例、兵庫県2例 )、マラリア1例( 熱帯熱\_\_感染地域: 中国 )、急性脳炎6例( インフルエンザウイルスAH1pdm 3例( 5歳1例、10代2例 )、病原体不明3例( 4歳1例、20代2例 ))などの報告があった。

## 定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

定点把握疾患の報告の過去5年間の同時期との比較(第41週)



当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)との差をグラフ上に表現した。

### インフルエンザ

定点当たり報告数は2週連続で増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い。都道府県別では北海道(38.96)、愛知県(23.52)、福岡県(23.48)、神奈川県(21.63)、沖縄県(19.48)、東京都(18.98)、大阪府(16.96)、埼玉県(16.89)、兵庫県(16.54)、千葉県(15.79)が多い。

### 小児科定点報告疾患

RSウイルス感染症の報告数は507例と2週連続で増加した。年齢別では、1歳以下の報告数が全体の約71%を占めている。

咽頭結膜熱の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では富山県(0.24)、北海道(0.23)、宮崎県(0.22)が多い。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別では山口県(2.34)、北海道(2.05)、山形県(1.60)が多い。

感染性胃腸炎の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別では福井県(5.3)、宮崎県(4.9)、大分県(4.6)が多い。

水痘の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では大分県(0.75)、岩手県(0.73)、福岡県(0.63)が多い。

手足口病の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別では沖縄県(4.5)、山形県(3.5)、佐賀県(1.6)、長崎県(1.6)が多い。

伝染性紅斑の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別では愛媛県(0.19)、神奈川県(0.15)、長野県(0.15)が多い。

百日咳の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では広島県(0.14)、高知県(0.13)、千葉県(0.09)が多い。

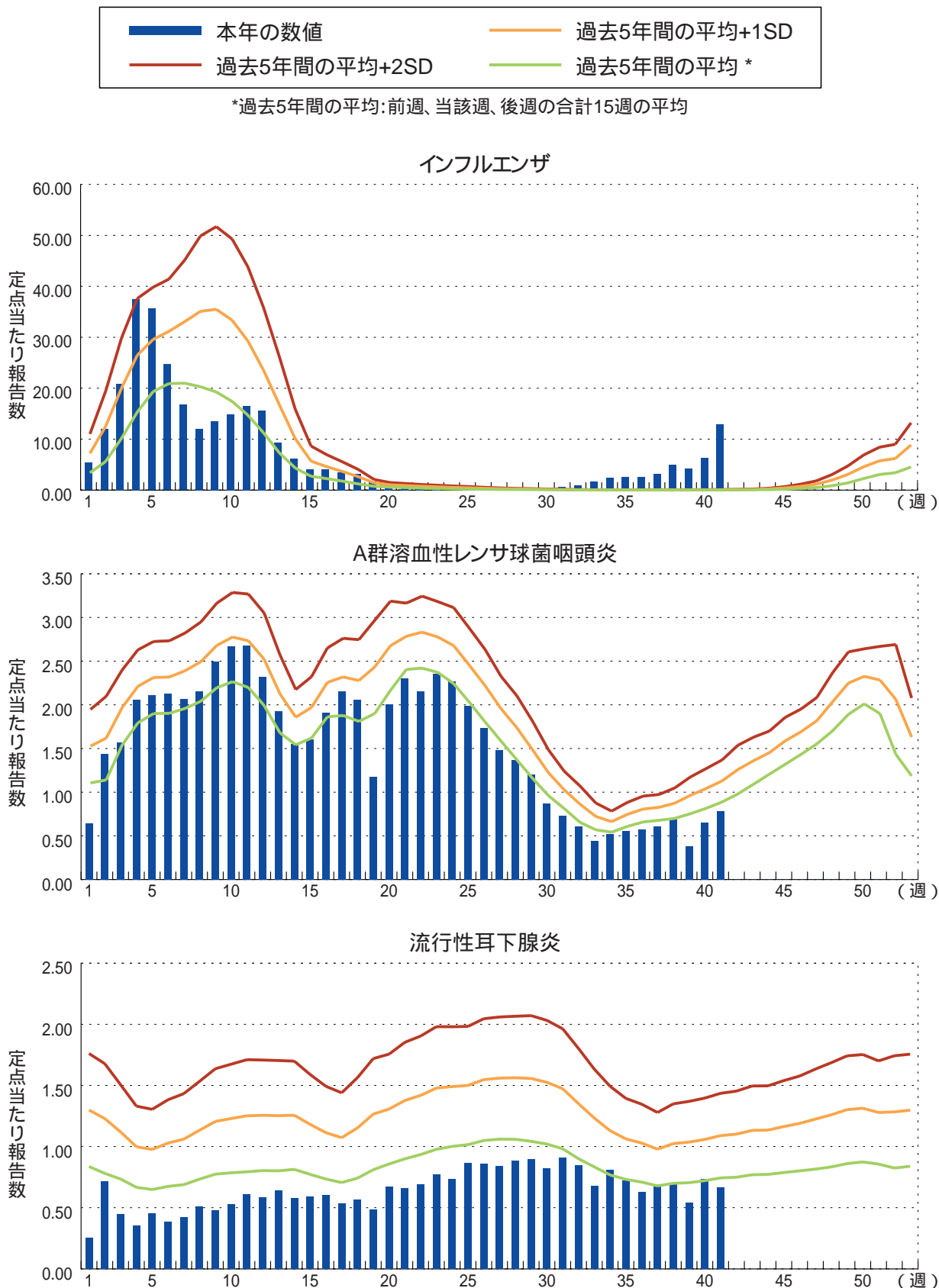
ヘルパンギーナの定点当たり報告数は2週連続で増加し、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では高知県(3.20)、福井県(1.95)、沖縄県(1.26)が多い。

流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では山形県(2.70)、福井県(1.86)、沖縄県(1.74)が多い。

### 基幹定点報告疾患

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では沖縄県(1.71)、宮城県(1.17)、群馬県(1.00)が多い。

図. 主要定点把握疾患の過去5年間との週別比較(2009年第1～41週)  
 青のバーで示す本年の定点当たり報告数が赤のラインを超えているときには、過去5年間の週と比較してかなり多いことを示す。





# 注目すべき感染症

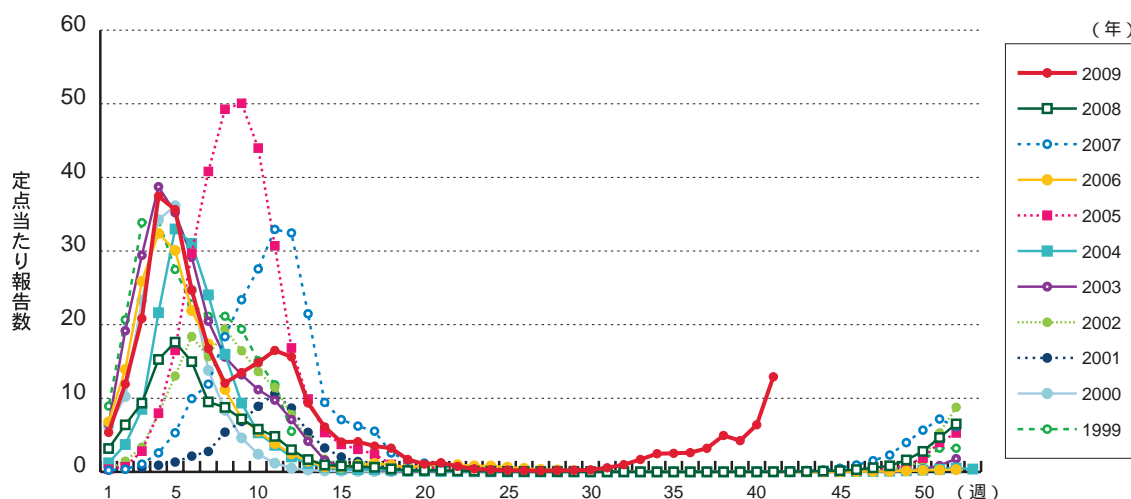
## インフルエンザ

インフルエンザ( Influenza )は、インフルエンザウイルスを病原体とする急性の呼吸器感染症で、毎年世界中で流行がみられている。2009年4月にその存在が明らかとなった新型インフルエンザ A/H1N1の臨床像は、従来の季節性インフルエンザとほぼ同様であり、罹患者の大半は合併症なく治癒するといわれているが、肺炎やインフルエンザ脳症を併発して重症化する場合がある。特に肺炎は、急速に進行する重症のウイルス性肺炎を起こす場合が多く、喘息や慢性閉塞性肺疾患等の呼吸器疾患の存在が急激な悪化と関連しているといわれている( Clinical features of severe cases of pandemic influenza: Pandemic( H1N1 )2009 briefing note 13, Global Alert and Response, WHO, Oct. 16, 2009 ; [http://www.who.int/csr/disease/swineflu/notes/h1n1\\_clinical\\_features\\_20091016/en/index.html](http://www.who.int/csr/disease/swineflu/notes/h1n1_clinical_features_20091016/en/index.html) )。感染経路は季節性インフルエンザと同様に飛沫感染が主体であり、一部には接触感染があると考えられている。従って、医療機関における感染対策としては、季節性インフルエンザと同様の標準予防策、咳エチケットを含めた飛沫予防策がその中心となる( 感染症情報センターホームページ: [http://idsc.nih.go.jp/disease/swine\\_influenza/2009idsc/infection\\_control\\_0901.html](http://idsc.nih.go.jp/disease/swine_influenza/2009idsc/infection_control_0901.html) 参照 )。

感染症発生動向調査では、全国約5,000カ所( 小児科定点約3,000、内科定点約2,000 )のインフルエンザ定点からの報告に基づいてインフルエンザの発生動向を分析している。本サーベイランスは原則的に臨床診断によるものであり、最近の国内のインフルエンザウイルス検出状況を考慮すれば、現在報告されているインフルエンザ患者発生の殆どは新型インフルエンザによるものであると推定される。

2009年第41週のインフルエンザの定点当たり報告数は12.92( 報告数61,583 )となり、前週の値( 定点当たり報告数6.40 )より大きく増加した( 図1 )。定点医療機関からの報告数をもとに、定点以外を含む全国の医療機関を1週間に受診した患者数を推計すると約64万人であり、第28週以降これまでの累積の推計患者数は約234万人( 95%信頼区間: 223.75万人 ~ 244.25万人 )となっ

図1. インフルエンザの年別・週別発生状況( 1999 ~ 2009年第41週 )



た。都道府県別では北海道(38.96)、愛知県(23.52)、福岡県(23.48)、神奈川県(21.63)、沖縄県(19.48)、東京都(18.98)、大阪府(16.96)、埼玉県(16.89)、兵庫県(16.54)、千葉県(15.79)、三重県(11.07)、秋田県(10.49)の順となっている(図2)。また、全国29都道府県の221保健所地域で定点当たり報告数が10.0以上となっている。定点当たり報告数、患者報告数ともに北海道、首都圏、愛知県、大阪府、兵庫県、福岡県等の大都市圏を中心とした地域での急速な増加が続いており、第35週以降減少が続いていた沖縄県も増加に転じた。特に北海道では、季節性インフルエンザの流行のピークに匹敵する報告数となっている(図3)。

図2. インフルエンザの都道府県別定点当たり報告数(2009年第41週)

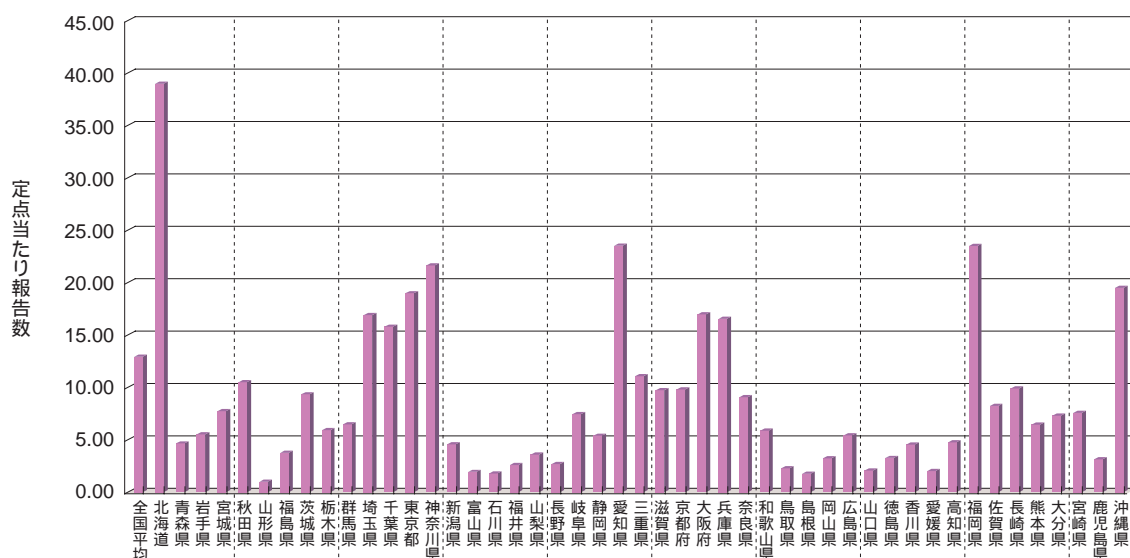
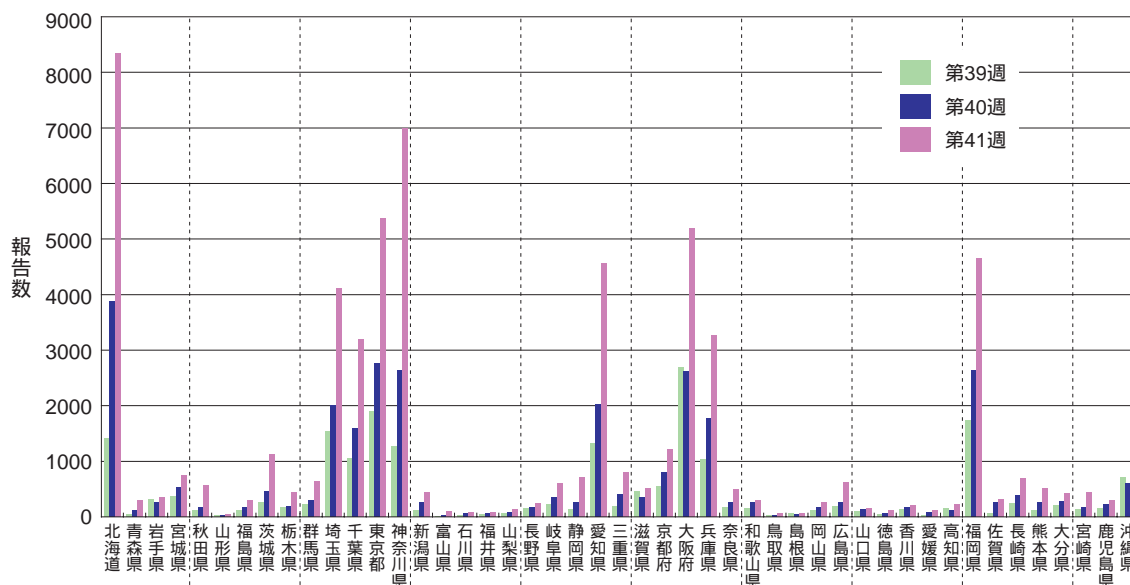


図3. インフルエンザの都道府県別報告数の推移(2009年第39～41週)



患者報告数が継続的に増加し始めた第28週以降第41週までの定点当たり累積報告数は43.69 (累積報告数207,245)であり、年齢群別では10～14歳69,450例(33.5%)、5～9歳55,350例(26.7%)、15～19歳30,013例(14.5%)、0～4歳20,402例(9.8%)、20～29歳13,378例(6.5%)の順となっており、特に5～9歳の報告割合が増加してきている(図4)。特に夏季休暇終了後(第36週以降)に5～19歳の年齢層の割合が増加し、現在の流行の中心となっていることは明らかである(図5)。

図4. インフルエンザ累積報告数の年齢群別割合(2008年第28週～41週)

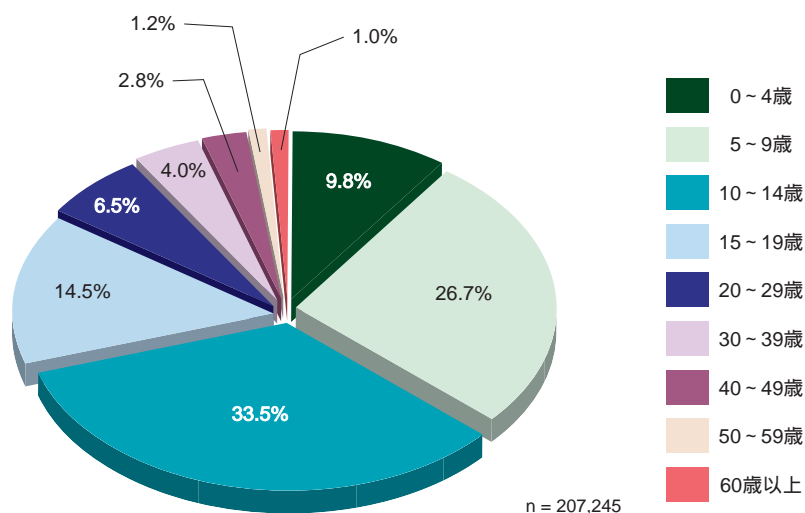
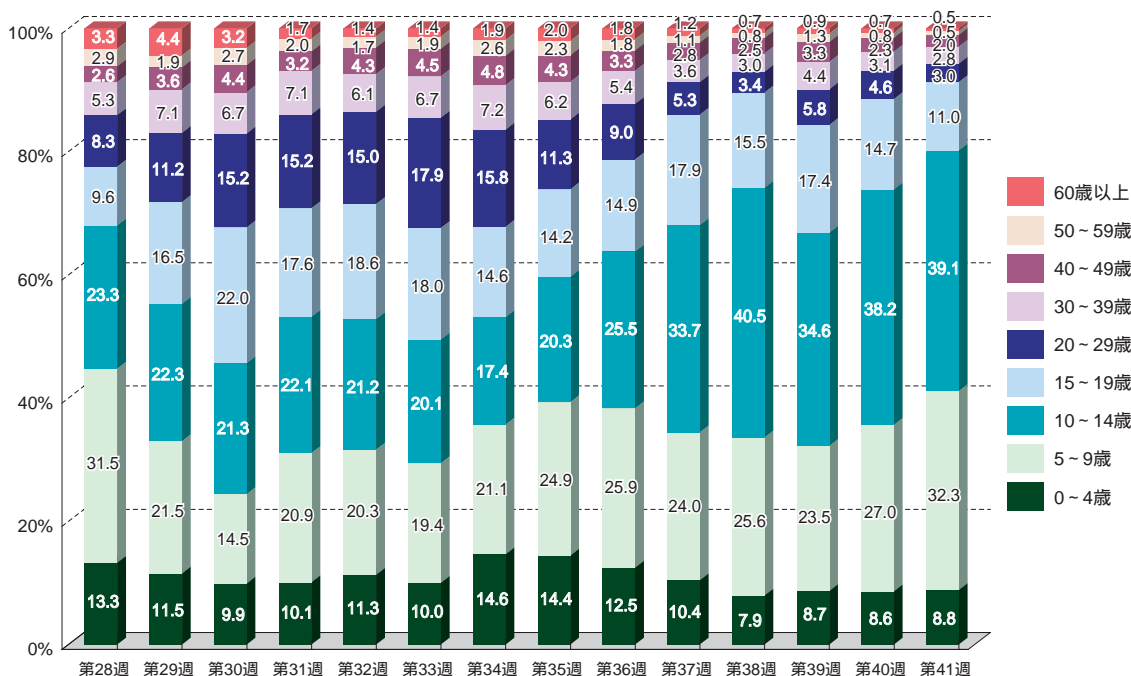


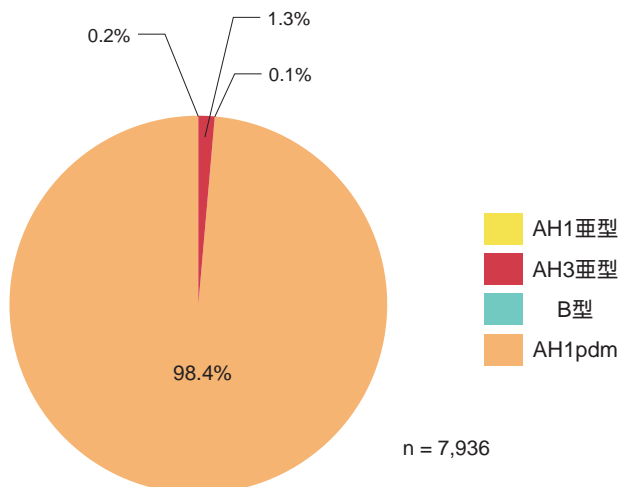
図5. インフルエンザ報告数の年齢群別割合の推移(2009年第28～41週)





日本で新型インフルエンザウイルスAH1pdmが検出された2009年第19週以降第41週までに10,157件のインフルエンザウイルスの検出が報告されており、そのうちAH1pdmは9,142件( 90.0% )を占めている。また、特に患者報告数が増加し始めた第28週以降では、第41週までに7,936件のインフルエンザウイルスの検出が報告され、AH1亜型( Aソ連型 )17件( 0.2% )、AH3亜型( A香港型 )103件( 1.3% )、B型4件( 0.1% )、AH1pdm( 新型インフルエンザウイルス )7,812件( 98.4% )とインフルエンザウイルスの検出報告数の大半をAH1pdmが占めており、現在国内で発生しているインフルエンザの殆どは新型インフルエンザによるものであると推定される( 図6および感染症情報センターホームページ: <http://idsc.nih.go.jp/iasr/prompt/graph/sinin1.gif> 参照 )。

図6. インフルエンザウイルス検出割合報告( 2009年第28 ~ 41週 )  
( 病原微生物検出情報: 2009年10月15日現在報告数 )



第41週に入り、国内の大都市圏では本格的な流行になってきている。特に北海道では、札幌市を含めて半数近い保健所地域で定点当たり報告数が30.00以上となっている。流行の中心である5 ~ 19歳の年齢層の報告割合がまだ増加傾向にあることは、今後更に他の年齢層へ流行が拡大していく可能性が高いことを示しているものと考えられる。特に、入院患者の報告数が最も多い5 ~ 9歳( 厚生労働省ホームページ: <http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou04/rireki/091016-02.html> 参照 )の患者報告数の割合が増加してきていることは、要注意である。

これまでのインフルエンザ・パンデミックの例をみても、新型インフルエンザの流行は、国民の多くが感染し免疫を保有するに至るまでは繰り返されるものと考えられる。また、現時点においては、いまだ殆どの国民が感受性者であることから、たとえ秋季の流行であっても、その規模は従来の冬季における季節性インフルエンザの流行より大きくなる可能性があることを考慮しておくべきである。従って、本格的な流行となった場合に、現在の医療体制を維持し、国民に対して医療サービスを提供し続けることが大きな課題であり、また、流行規模の増大に伴って、心疾患、呼吸器疾患、腎疾患、糖尿病等の慢性疾患患者、妊婦、乳幼児、高齢者等のいわゆるインフルエンザの罹患による重症化が予想される者に対する注意と対策に関する準備も急務であると思われる。また、特に発症後急速な経過をとるといわれているインフルエンザウイルス性の肺炎やインフルエンザ脳症の合併は要注意であり、これまでの重症例に対する迅速で詳細な解析と速やかな情報の還元は重要と思われる。新型インフルエンザを含めたインフルエンザの発生動向には今後とも警戒が必要である。



## 病原体情報

\* グラフはIASRホームページ( <http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html> )からの引用です。

各都道府県市の地方衛生研究所(地研)からの検出報告です。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

(2009年10月15日現在報告分)

### インフルエンザウイルス 2009年5～10月

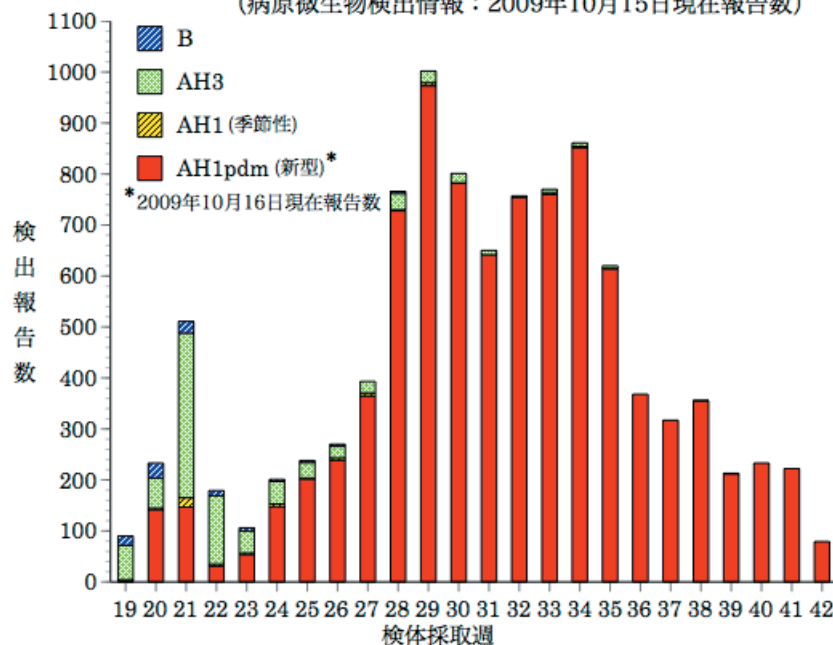
国立感染症研究所・感染症情報センターには地方衛生研究所(地研)から「病原体個票」が報告されている。これには感染症発生動向調査の定点およびその他の医療機関、保健所等で採取された検体から検出された病原体の情報が含まれる。

新型インフルエンザの発生に対応して、2009年5月以降、地研で鑑別診断のための検査が行われている。第19週に最初の新型インフルエンザウイルスAH1pdm検出例が報告され、第20週以降検出数が増加している。

AH1pdmは、2009年第19～42週に46都道府県から9,221件の分離・検出が報告されており(2009年10月16日現在報告分) このうち、6,206件はPCRで検出、2,868件はPCRで検出後ウイルス分離培養も陽性、147件はPCRでは検出されず分離培養のみで陽性となっている。また、下気道炎(肺炎、気管支炎)199件、インフルエンザ脳症24件、死亡例12件が報告されている。

ちなみに、第19～42週に季節性インフルエンザウイルスの検出はAH1亜型(Aソ連型)64件、AH3亜型(A香港型)849件、B型102件の報告があり(2009年10月15日現在報告数) AH1pdmはこの期間の分離・検出例全体の90%を占めている。

週別インフルエンザウイルス分離・検出報告数、2009年第19～42週  
(病原微生物検出情報：2009年10月15日現在報告数)

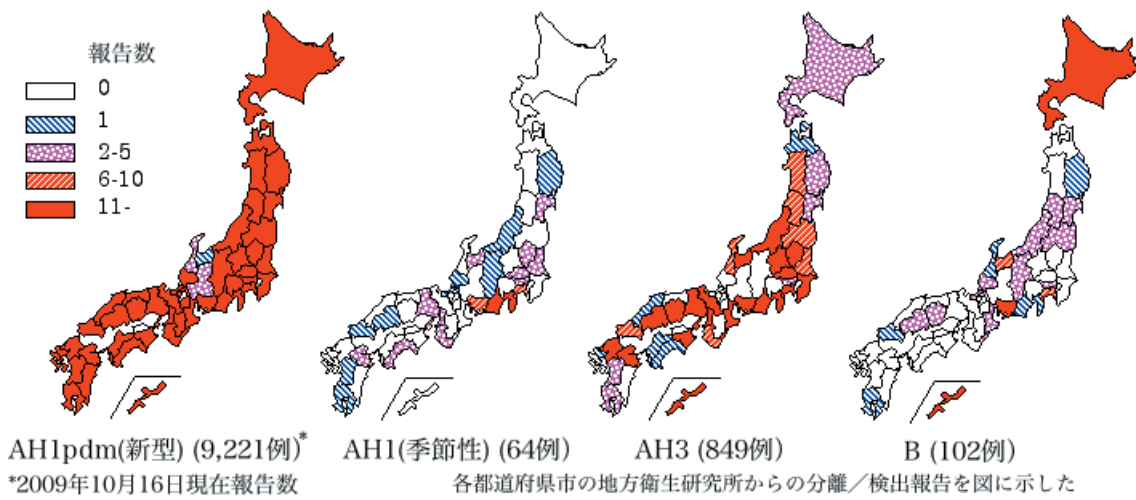


各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した  
(データは現在週および過去の週に遡って追加が見込まれる)

**IASR**

Infectious Agents Surveillance Report

都道府県別インフルエンザウイルス分離・検出報告状況、2009年第19週～42週  
(病原微生物検出情報：2009年10月15日現在報告数)



**IASR**

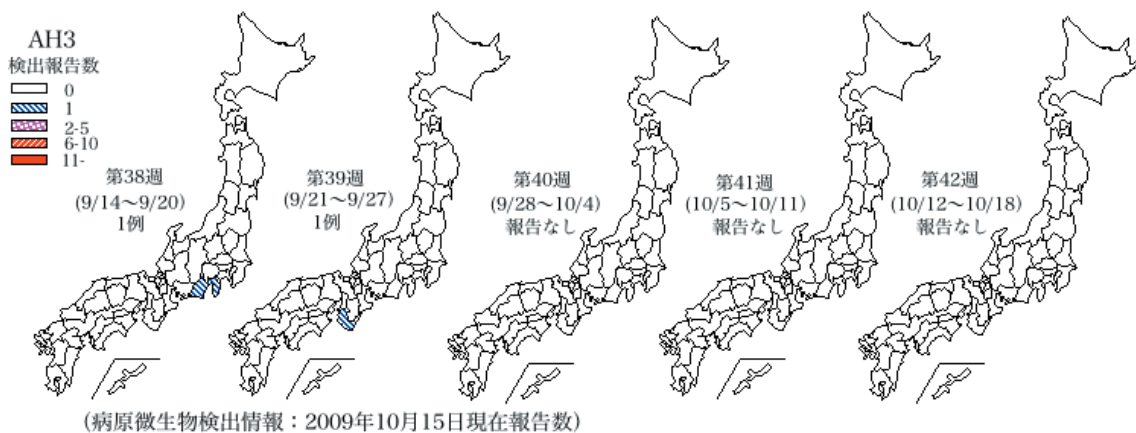
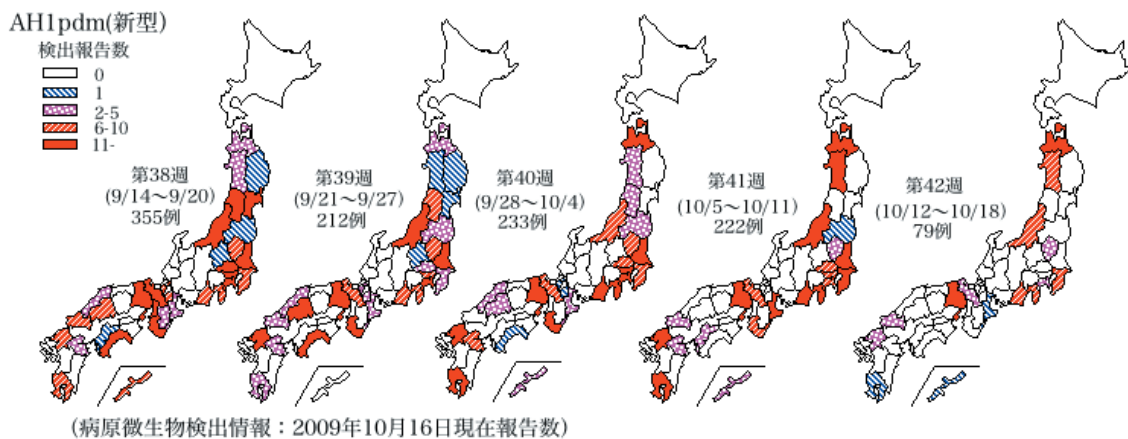
Infectious Agents Surveillance Report

直近の5週間(第38～42週)の分離・検出ではAH1pdmが31都府県から計1,101件、AH3亜型が2県から計2件報告されている。AH1亜型は第36週以降、B型は第29週以降報告されていない。

また、第25～29週には輸入例からの検出が大きく増加していたが(AH1pdmが542件、AH1亜型が14件、AH3亜型が56件) 第30週以降、多くの自治体が疑い例の全例検査を中止したため、第30～34週にはAH1pdmが88件、AH1亜型が1件、AH3亜型が14件、第35～42週にはAH1pdmが6件、AH3亜型が1件と報告が減少している。

インフルエンザウイルス分離・検出速報は <http://idsc.nih.go.jp/iasr/influ.html> を参照ください。

週別都道府県別インフルエンザウイルス分離・検出報告状況、2009年第38～42週

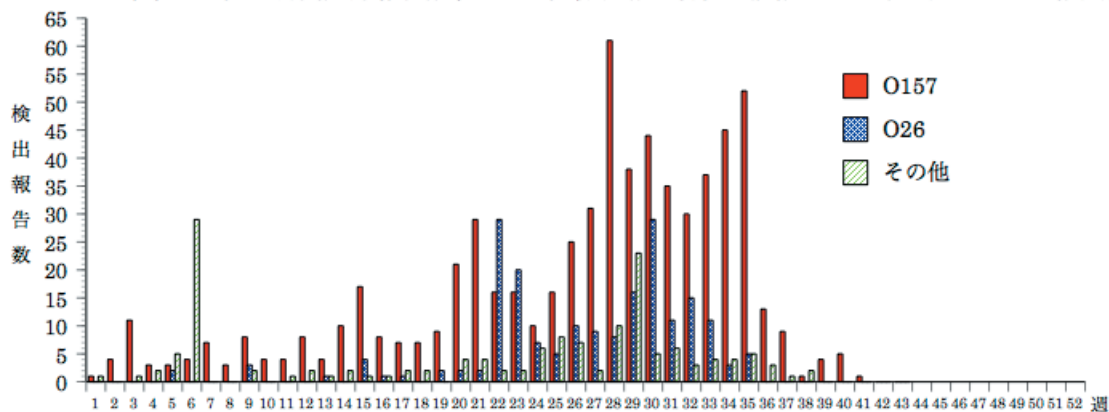


\* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を検体採取週別に図に示した

### ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 2009年

2009年第1～41週(12/29～10/11)までの検出総数は1,011件で、このうち第37週以降の集団発生例からの検出として、第36～37週に兵庫県(飲食店)でO157が2件、第37週に埼玉県(飲食店)でO157が2件報告されている。

週別Vero毒素産生性大腸菌分離報告数、2009年(病原微生物検出情報:2009年10月15日現在報告数)



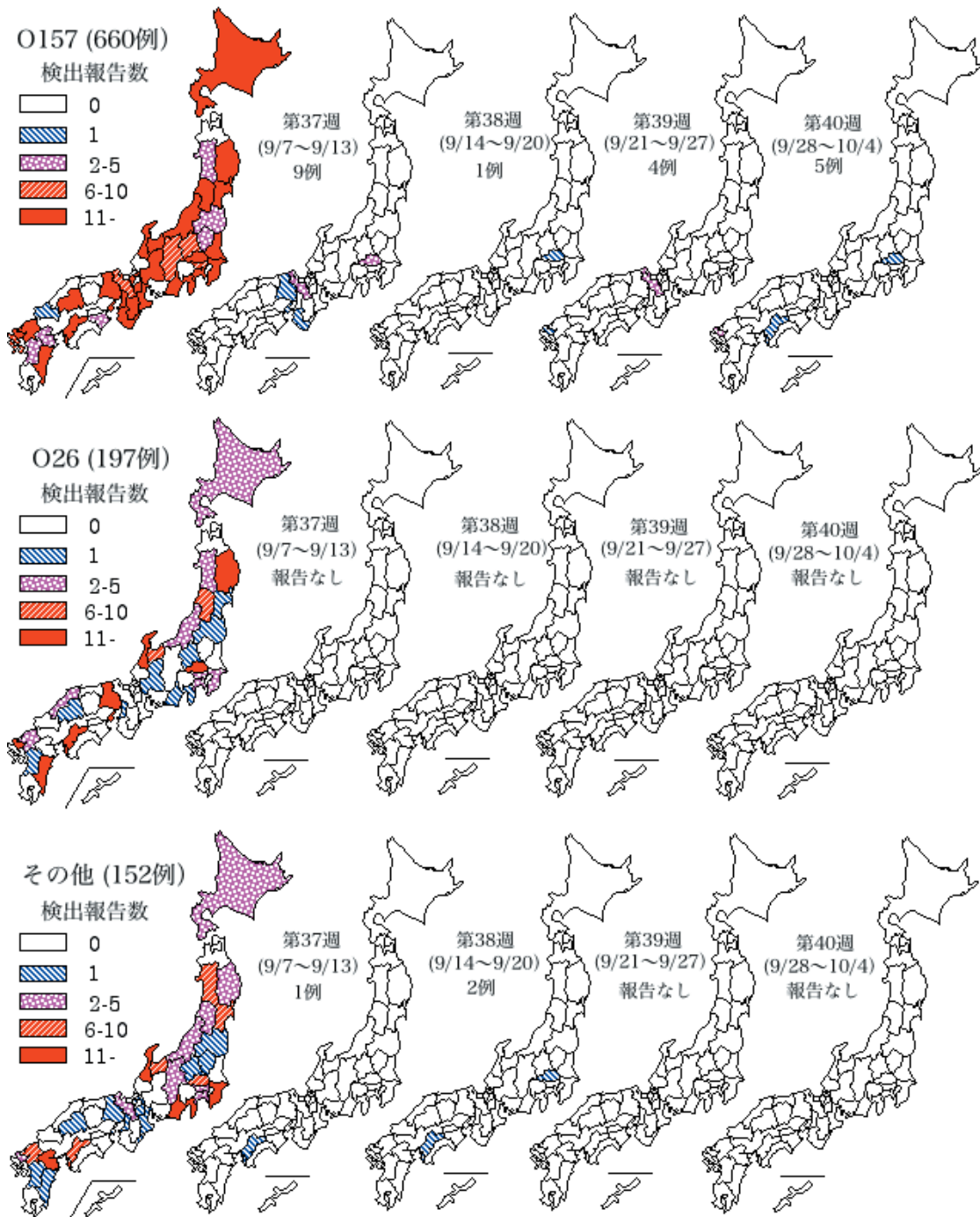
\*各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した



2009年1～10月にO157が36都道府県から660件、O26が25都道府県から197件、その他の血清型が29都道府県から152件報告されている。

週別都道府県別Vero毒素産生性大腸菌分離報告状況、2009年

(病原微生物検出情報: 2009年10月15日現在報告数)



\* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した



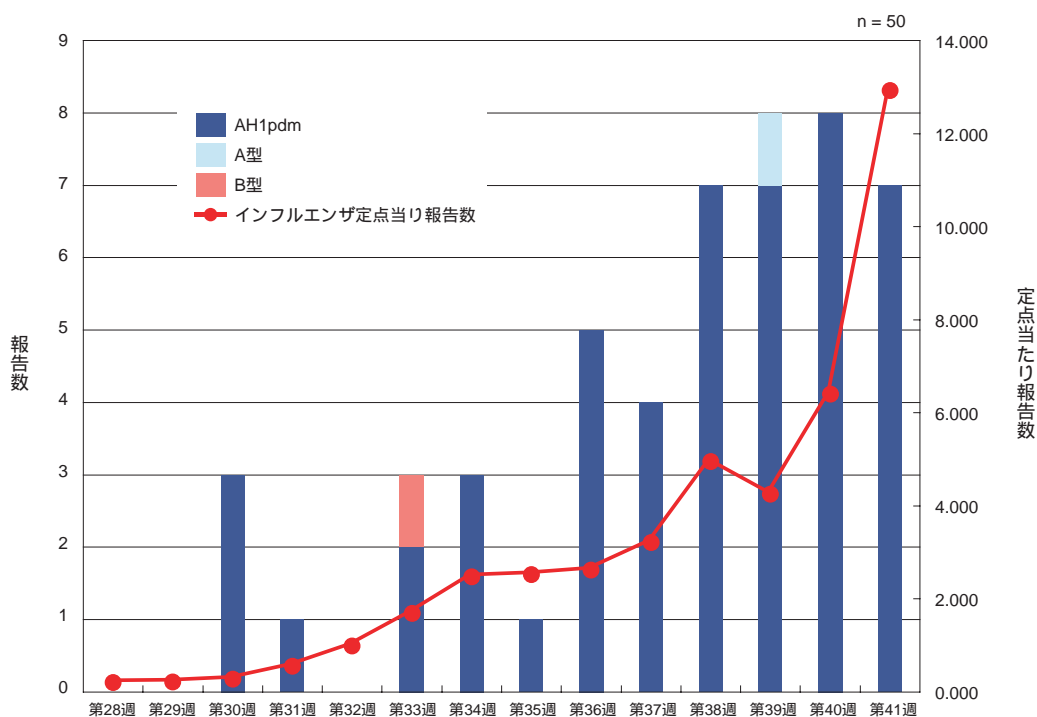


## インフルエンザA(H1N1)pdmによる急性脳症

( 2009年10月14日現在 )

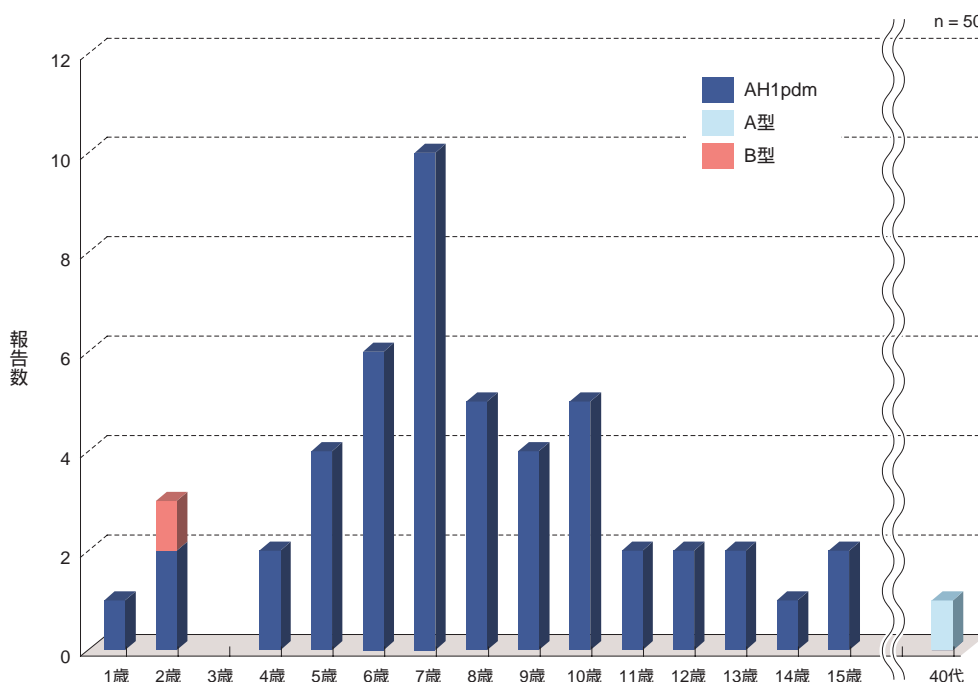
急性脳炎は、2003年11月5日施行の感染症法改正によって、基幹定点( 全国約500カ所の病院 )からの報告による定点把握疾患から、5類感染症の全数把握疾患に変更され、診断したすべての医師は、診断から7日以内に届け出ることが義務づけられている。届出の対象は、4類感染症として全数把握されるウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎およびリフトバレー熱を除く、それ以外の病原体によるもの、および病原体不明のものである( 届出の時点で病原体不明なものについては、可能な限り病原体診断を行い、明らかになった場合には追加で報告することが求められている )。また、炎症所見が明らかでなくとも、同様の症状を呈する脳症も含まれる( 熱性痙攣、代謝疾患、脳血管障害、脳腫瘍、外傷など、明らかに感染性とは異なるものは除外する ) ( 急性脳炎の届出基準 : <http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou11/01-05-03.html> )。当初、インフルエンザ脳症や麻疹脳炎など、原疾患が届出対象である場合は除くと解釈されていたが、厚生科学審議会感染症分化学会の審議を経て、2004年3月1日以降はこれらも届出の対象となった。これによってわが国でその存在に気づかれたインフルエンザ脳症の発生動向も把握することができるようになった。インフルエンザ脳症の診断については、厚生労働科学研究「インフルエンザ脳症の発症因子の解明と治療及び予防方法の確率に関する研究( 研究代表者: 森島恒雄 )」班により診断基準が示されているところであるが、感染症法に基づく届出はその届出基準( 上記URL参照 )に基づき行われるものである。

図1. インフルエンザウイルスによる急性脳症の週別報告数( 2009年第28 ~ 41週 )



2009年4月28日( 第18週 )、WHOにより新型インフルエンザの発生が宣言され、5月には国内発生例も認められた。一方、インフルエンザによる急性脳症は、国内においてインフルエンザの患者報告数が継続的に増加し、かつそのほとんどが新型インフルエンザと考えられる第28週以降第41週までの期間に、16都道府県から、計50例が報告された。その報告数の推移を、インフルエンザの定点当り報告数と比較すると、概ね同様の傾向を示しており( 図1 )、大半の教育機関の夏季休暇が終了した、第36、37週以降に増加傾向が顕著となっている。年齢別にみると、年齢中央値は8歳( 範囲1～43歳 )であり、7歳が10例と最多であった( 図2 )。

図2. インフルエンザウイルスによる急性脳症の年齢群別報告数( 2009年第28～41週 )



感染症法に基づく感染症発生動向調査における急性脳炎( 脳症 )の届出においては、意識障害の持続時間などの臨床経過や治療内容の情報は求められていない。しかし、新型インフルエンザの重要な臨床像のひとつである脳症について、それらの情報を明らかにすることは、臨床の場で治療にあたる医療従事者のみならず、国民や保健行政関係者にも重要である。そのため、国立感染症研究所感染症情報センターでは、第28週以降にA型インフルエンザウイルス( インフルエンザAH1pdmを含む )による脳症として届出のあった症例について、各都道府県を通じて届出医師に追加調査を依頼しており、現在も調査を継続中である。可及的速やかに広く情報を還元することの有用性を考慮し、第一報として10月16日までに回答を得られた20例のインフルエンザA( H1N1 )pdmによる急性脳症の症例についての調査結果を記述する( 表 )。



表. インフルエンザA(H1N1)pdmによる急性脳症20例の臨床像

背景	
年齢(中央値)	5-13歳(9歳)
性別	男性13(65%)、女性7(35%)
基礎疾患・既往歴あり	11/20(55%)(熱性けいれん6、気管支喘息5)
症状	
意識障害	20/20(100%)
発熱から意識障害までの期間(中央値)	0-8日(1日)
けいれん	10/20(50%)
異常行動・言動	16/20(80%)
検査所見	
脳波検査で所見あり	13/17(76%)
頭部CT検査で所見あり	9/18(50%)
頭部MRI検査で所見あり	6/15(40%)
治療	
抗インフルエンザ薬	オセルタミビル13/20(65%)、ザナミビル5/20(25%)、両者の併用2/20(10%)
発熱から投与開始までの期間(中央値)	0-6日(1日)
解熱剤の使用	13/20(65%、すべてアセトアミノフェン製剤)
ステロイドパルス療法	16/20(80%)
グロブリン療法	5/20(25%)
脳低体温療法	3/20(15%)
人工呼吸器の使用	4/20(20%)
合併症、転帰	
脳症以外の合併症あり	12/20(60%)
うち肺炎、気管支炎	9/12(75%)
入院日数(中央値)	4-39日(7日)
転帰	死亡1/19(5%)、後遺症あり3/19(16%)、 治癒・軽快15/19(79%)

20例の年齢分布は5～13歳(中央値9歳)であり、男性13例、女性7例である。11例に基礎疾患や既往歴を認め、その内訳は熱性けいれん6例、気管支喘息5例であった。気管支喘息5例のうち現在治療薬の投与が行われているのは2例であったが、テオフィリン製剤の投与は認められなかった。

症状では、全例に意識障害を認めた。発熱から意識障害出現までの期間は0日(同日)が4例、1日が11例、2日が4例であったが、8日との回答を1例認めた(中央値1日)。意識障害の程度はJapan Coma Scale(JCS)≥20以上が9例、JCS10が3例、JCS10未満が7例であった。1例は判定不能であった。意識障害の持続時間は48時間以上が8例、24～48時間が3例、12～24時間が6例、12時間未満が3例であった。けいれんは10例に認められ、うち3例はけいれん重積を認めた。異常行動や異常言動は16例に認められた。

インフルエンザAH1pdm感染の診断はすべてRT-PCR法により行われていた。脳症に関する検査として脳波検査が施行されていたのは17例で、うち13例で高振幅徐波などの所見を認めてい

た。全例に対して頭部CT検査もしくは頭部MRI検査が施行されており、いずれかの検査で何らかの所見を認めたのは20例中12例であった。頭部CT検査では脳浮腫を認めた症例が多く、予後不良例では視床や脳幹に低吸収域を認めた症例もあった。頭部MRIではT2強調画像や拡散強調画像で脳梁膨大部などに高信号領域を認めたとの回答が複数あった。脳波検査と頭部画像検査(CTまたはMRI)のいずれにも異常所見を認めなかった症例は2例であった。髄液検査は13例で施行されたとの記載があり、1例で細胞数増多(41/3:血液混入あり)、1例で蛋白濃度上昇(66.4 mg/dl)とIL-6上昇(143 pg/ml)の所見ありと報告されたが、明らかな髄膜脳炎の所見を有するものは認められなかった。

全例に対して抗インフルエンザウイルス薬が投与されており、その内訳はオセルタミビル13例、ザナミビル5例で、2例ではこの2剤が短期間併用されていた。発熱から抗インフルエンザウイルス薬投与までの期間は0日(同日)が3例、1日が12例、2日が3例、3日が1例、6日が1例(中央値1日)であった(6日の症例は経口摂取が困難だったためとのことであった)。抗インフルエンザウイルス薬の投与量はいずれも通常量であった。解熱剤は13例で使用されていたが、すべてアセトアミノフェン製剤であった。

インフルエンザ脳症に対する治療としてステロイドパルス療法、グロブリン療法、脳低体温療法がそれぞれ16例、5例、3例で行われていた。血漿交換、シクロスポリン療法、アンチトロンビンIII大量療法を用いたとの回答はなかった。4例ではこれらのいずれも行われていなかった。人工呼吸器は4例で使用されていた。

12例において脳症以外の合併症を認めたとの回答が得られた。その内訳は気管支炎もしくは肺炎が9例、低Na血症が2例、多臓器不全が1例であった。

転帰についての回答が得られた19例のうち、死亡1例、後遺症ありが3例、治癒・軽快が15例となっていた。すでに退院している17例の入院日数は4～39日(中央値7日)であった。後遺症の内容は精神神経障害を3例全てに認めたが、2例では身体障害(片麻痺や失調)も認められた。

以上のように、多くの症例ではインフルエンザ発症後早期に脳症の症状が発現しており、抗インフルエンザウイルス薬やステロイドパルス療法を中心とした治療が行われて79%が軽快しているものの、中には後遺症を残したり死亡に至る症例も認められており、ひきつづき注意深く対応していく必要がある。

現在も調査は継続しており、今後さらに多くの症例についての情報を得ることで、より精度の高い調査になることが期待される。今回の調査にご協力いただき、貴重な情報を提供いただいた医療機関届出医師・関係自治体の皆様に深く感謝するとともに、今後も引き続きご協力をいただければ幸いである。



## 海外感染症情報

\*WHOのEPR( Epidemic and Pandemic Alert and Response )による、感染症アウトブレイクニュースを掲載しています。

### パンデミック(H1N1)2009 短報: no.12 - 抗ウイルス薬と耐性能獲得の危険性

2009年9月25日

パンデミック(H1N1)2009ウイルス感染が世界各国へ広がり、治療の経験が増えるほど、抗ウイルス薬であるオセルタミビルとザナミビルによる早期治療の重要性が強調される。早期治療は合併症発症のリスクが高い、症状が重い患者や症状が急速に悪化している患者にとくに重要である。

重症患者を治療した経験をもつ医師を含めた臨床家、ならびに国家当局は、発症後の早急な抗ウイルス薬の投与は合併症発症のリスクを軽減し、重症患者の転帰を好転させると提唱している。この経験則は、耐性遺伝子出現とそのインパクトを最小限にとどめることにより、抗ウイルス薬の効果を保持することの必要性を強調するものである。

#### 耐性遺伝子が出現しやすい状況

WHOは臨床医に対して、オセルタミビル耐性ウイルス出現のハイリスク因子となる2つの状況を紹介し、警戒するように促している。耐性遺伝子の出現のリスクが高い状況のひとつは、重度の免疫不全、あるいは免疫抑制状態にある患者が、オセルタミビルによる治療(特に長期間)されているが、しかし引き続きウイルスが増殖している状況である場合。

耐性遺伝子の出現のリスクが高いもう一つの状況は、いわゆる「暴露後の予防投与」としてオセルタミビルを処方されている人である。これは、インフルエンザに罹患した人と接触後オセルタミビルを処方されているにもかかわらず、インフルエンザを発症した人である。

臨床現場においていずれかの状況にある人を診察した場合、医療者はかなりの確率でオセルタミビル耐性を獲得したウイルスの感染を疑わなくてはならない。このような場合には、実験室検査を行い、耐性ウイルスが本当に感染しているのか確認し、適切な感染制御法を導入、あるいは増強を行なうべきである。

もし薬剤耐性ウイルスが確認されたら、WHOは疫学調査を行ない、ウイルスの二次感染が起こっていないか調査することを推奨する。さらに、パンデミックインフルエンザ(H1N1)オセルタミビル耐性遺伝子のコミュニティーサーベイランスを展開することを推奨する。

基本的に、WHOは予防目的での抗ウイルス薬の投与を推奨しない。感染者と接触があり、重症化や合併症発症のリスクの高い人は、注意深く症状の経過を観察し、症状が発症した場合の早期の抗ウイルス薬での治療が進められる。

また、WHOは、耐性が既に知られているウイルスに感染した人に対し、その薬剤を投与することを推奨しない。従って、オセルタミビル予防投与中に症状を発症した患者は、ザナミビルによる治療を選択薬とする。

#### オセルタミビル耐性ウイルス

WHO協力センターやそのほかの実験室により成るGlobal Influenza Surveillance Networkが実施しているサーベイランスによると、現在も散発的にオセルタミビル耐性パンデミックインフルエンザ(H1N1)ウイルスが検出されている。今日までに、世界中で28件の耐性ウイルス検出、同定の報告が行なわれた。

すべてのウイルスはオセルタミビル耐性を示すH275Yの変異を認めていたが、ザナミビル耐性は獲得していなかった。依然ザナミビルは、オセルタミビル耐性ウイルス感染により重症化、あるいは症状悪化を認める患者への治療選択薬である。

これらのオセルタミビル耐性ウイルスのうち、12件が暴露後のオセルタミビル予防投与と関連があり、6件が重度の免疫抑制患者への投与例、4件がオセルタミビルによる治療中の患者から検出された。

2件は治療、予防投与、共に行なわれなかった患者から検出されている。残りについては現在調査中である。

現在、オセルタミビル耐性ウイルスの検出例は少ない。世界中で1万例以上のパンデミックH1N1ウイルスの臨床検体が検査され、オセルタミビルに感受性を認めている。

#### 現状についてのまとめ

これらのデータは、いくつかの結論を示している。オセルタミビル耐性ウイルスは依然として散発的に認められており、その数は少なく、コミュニティ内、あるいは世界規模で流行している証拠は認めていない。

現在のところ、オセルタミビル耐性ウイルスのヒト-ヒト感染は認められていない。いくつかの特定の条件下では感染伝播が起こった可能性があるが、それ以上の感染拡大は起こっていない。

免疫抑制患者を除き、オセルタミビル耐性パンデミックH1N1ウイルス感染者は、インフルエンザの典型的な症状を呈している。今のところ耐性ウイルス感染により、非典型的な症状を呈したり、より重症化しやすいという事実は無い。

オセルタミビル耐性ウイルスの出現は、予想された事態であり、治験の結果と一致している。今後抗ウイルス薬の使用量が増えるにつれ、耐性ウイルスの報告が増えるであろう。WHOとその協力下にある実験室は、注意深くその推移を監視し、適宜情報と使用方法に関する助言を行なっていく。

#### パンデミック(H1N1)2009 短報: no.13 - 重症患者の臨床像

2009年10月16日

パンデミックインフルエンザの臨床像および患者管理に関する情報を収集するため、WHOは10月14～16日の3日間、ワシントンDCにあるPAHO( WHOアメリカ事務局 )のヘッドクォーターにて会議を開催した。アメリカやヨーロッパ、アジア、アフリカ、中東、オセアニアから約100名の研究者、臨床家、科学者、公衆衛生専門家らにより所見や経験が提示された。

その会議では、世界的に新型H1N1ウイルスに感染したほとんどの症例では、たとえ薬剤を使用しなくても合併症もなく一週間以内に完全に回復していることが確認された。

#### 集中治療の必要性

しかしながら、急速に進行する重症の肺炎を呈する一部の患者層の臨床経過および管理法に現在関心が置かれている。これらの患者では、しばしば重症肺炎が他臓器の障害や基礎疾患としてあった喘息や慢性閉塞性気道疾患の著名な悪化と関連している。重症化した患者の治療は困難を極め、多大な労力と時間を要する。そしてそのことは救急室や集中治療室がパンデミック期に患者の治療において最も重い負担を抱えることを示している。

原発性ウイルス性肺炎が重症例でもっとも共通した所見で死亡の原因である。死亡例の約30%で二次性細菌性肺炎が認められている。呼吸器不全、不応性のショックが最も多い死亡原因である。

会議中に重症肺炎の病理像の詳細が示され、動物実験の所見もこれらの結果と合致していた。これらの結果により、新しいH1N1ウイルスが直接重症肺炎の原因となりうる事が確認された。

#### 季節性インフルエンザとの臨床像に関する相違点

重症例管理に携わった参加者は、臨床像がこれまでの季節性インフルエンザ流行期にみられた重症患者のものと大きく異なっていることを認めた。妊娠を含む基礎疾患を有する人々が重症化のリスクであると知られている一方で、もともと健康であった若年層で多くの重症者が発生している。それらの患者では、重症化する危険因子はいまだ不明であり、現在調査中である。

重症患者では、一般的に発症して3～5日に悪化し始める。悪化は急速で、多くの患者では24時間以内に呼吸器不全に進行し、ICU入室が必要となる。入院に際して、大部分の患者は人工呼吸器管理が必要となる。一部の患者では人工呼吸器管理にあまり反応せず、さらに治療が困難となる。

良い情報としては、会議中に示された情報では、迅速なオセルタミビルやザナミビルといった抗ウイルス薬の投与が重症度を軽減させ、生存率を改善するエビデンスが示された。

ウイルスによる肺炎に加えて、細菌の重感染が重症化や急速に進行する点に関与している可能性に関するエビデンスが示された。細菌としては、肺炎球菌およびMRSAを含む黄色ブドウ球菌が多く報告されていた。細菌の重感染は当初考えられていたよりも頻度が高く、臨床家は初期治療として市中肺炎に対する予防的な抗生剤治療を考慮する必要性を強調した。

#### リスクの最も高いグループ

重症化、死亡する最もリスクの高いグループとして、妊婦、特に第3期、2歳以下の小児、喘息を含む慢性肺疾患を有する患者の3つのグループであると参加者らは同意した。神経系疾患は、小児において重症化リスクを増加させる可能性がある。

少数民族や先住民族といった不利な環境下にいる層に偏って重症化しているエビデンスが示された。理由はよくわかっていないが、糖尿病や喘息といった基礎疾患がこの層で高頻度に認められることや、医療アクセスが悪い点が調査されている理由として挙げられていた。

正確な機序はよくわかっていないが、肥満、特に病的肥満が重症例・死亡例で高率に認められた。季節性インフルエンザや、これまでのパンデミックで肥満はリスク因子としては認められてこなかった。

WHOとその協力機関は、途上国がパンデミックインフルエンザウイルスによって起こる疾患の検索と治療をより行いやすくするために技術的および実務的なサポートを提供している。医療資源が限られている条件下で提供できる患者ケアに関するアドバイスは迅速に適用されている。



## 感染症の話

\*\*\*\*\*

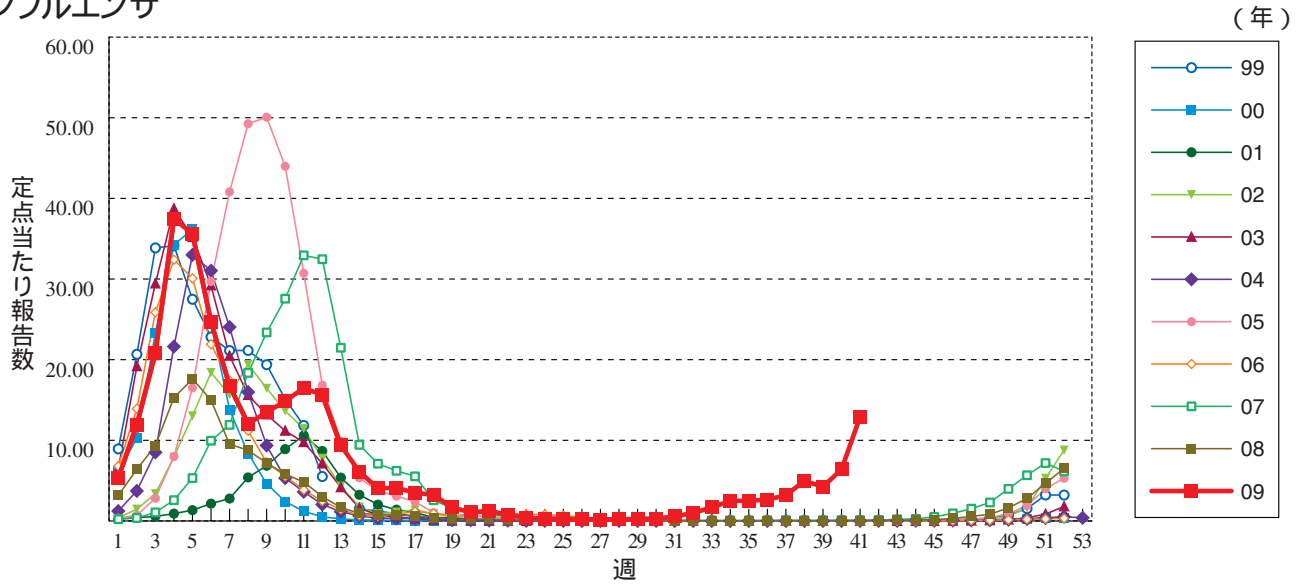
今週はお休みさせていただきます。  
「感染症の話」過去の掲載分については  
<http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/index.html>  
でご覧いただけます。

\*\*\*\*\*

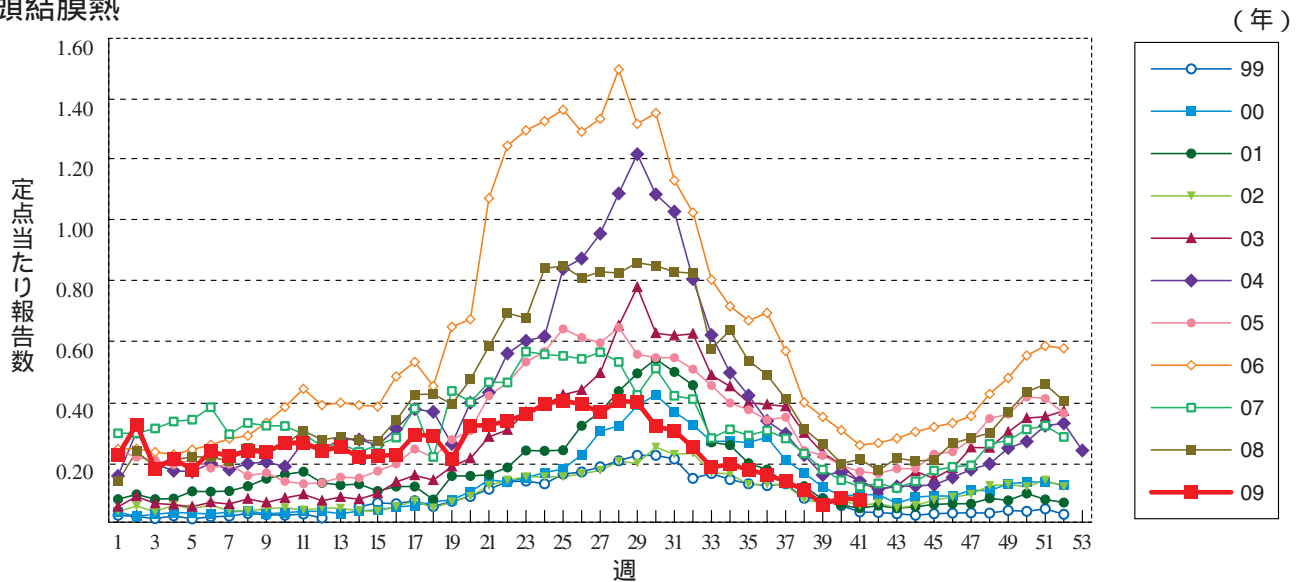


## グラフ総覧(41週)

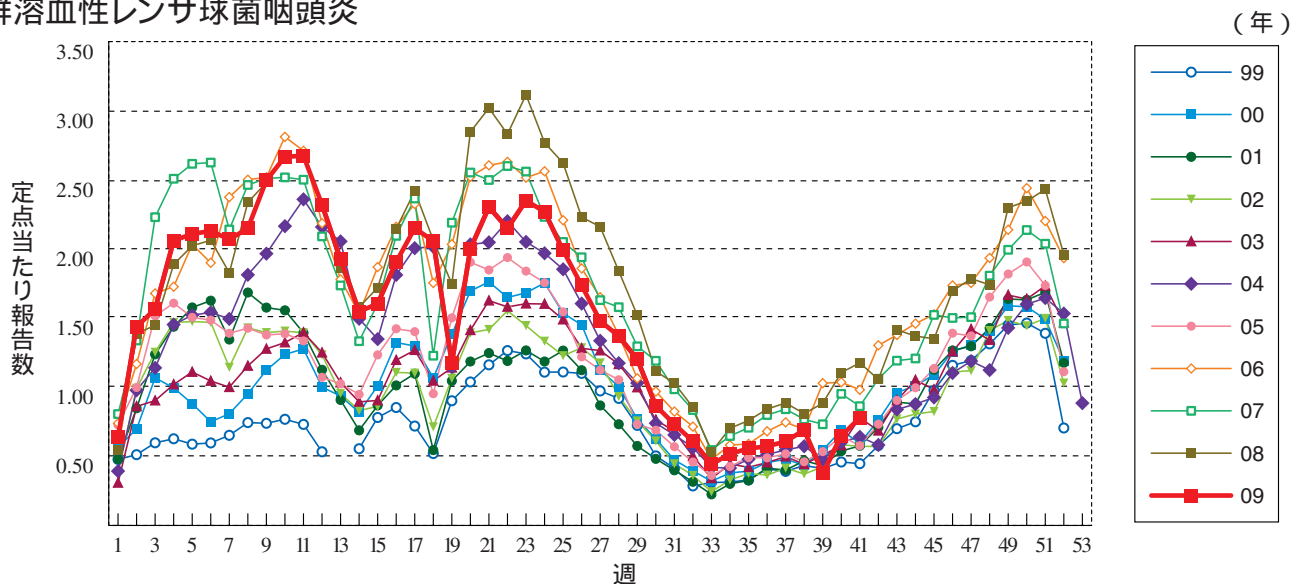
### インフルエンザ



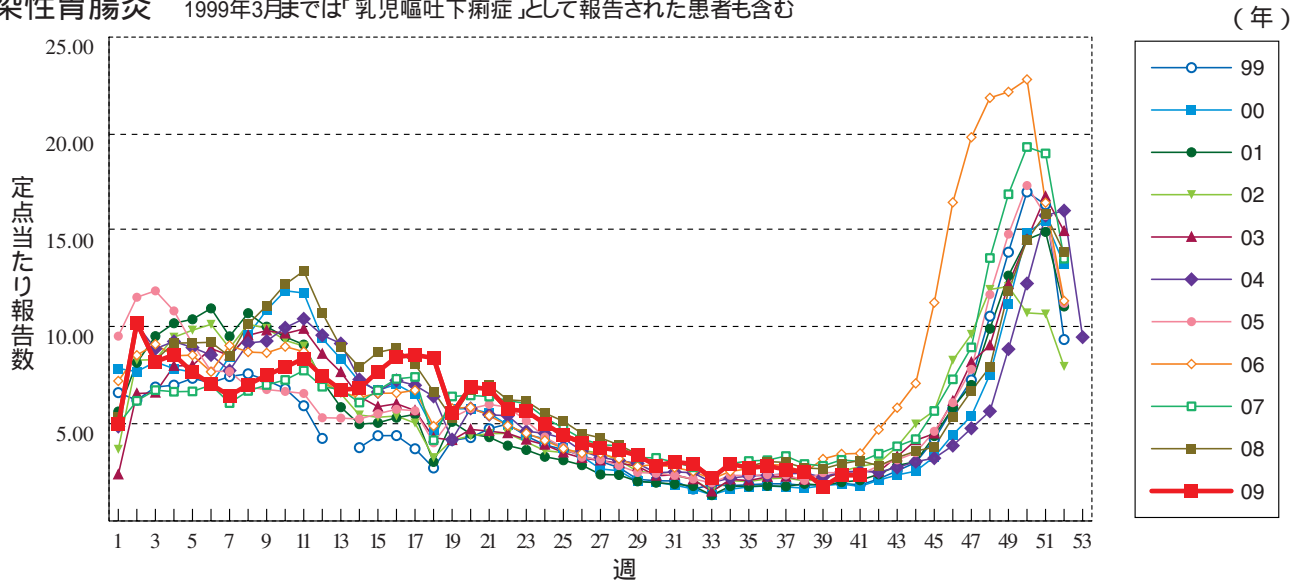
### 咽頭結膜熱



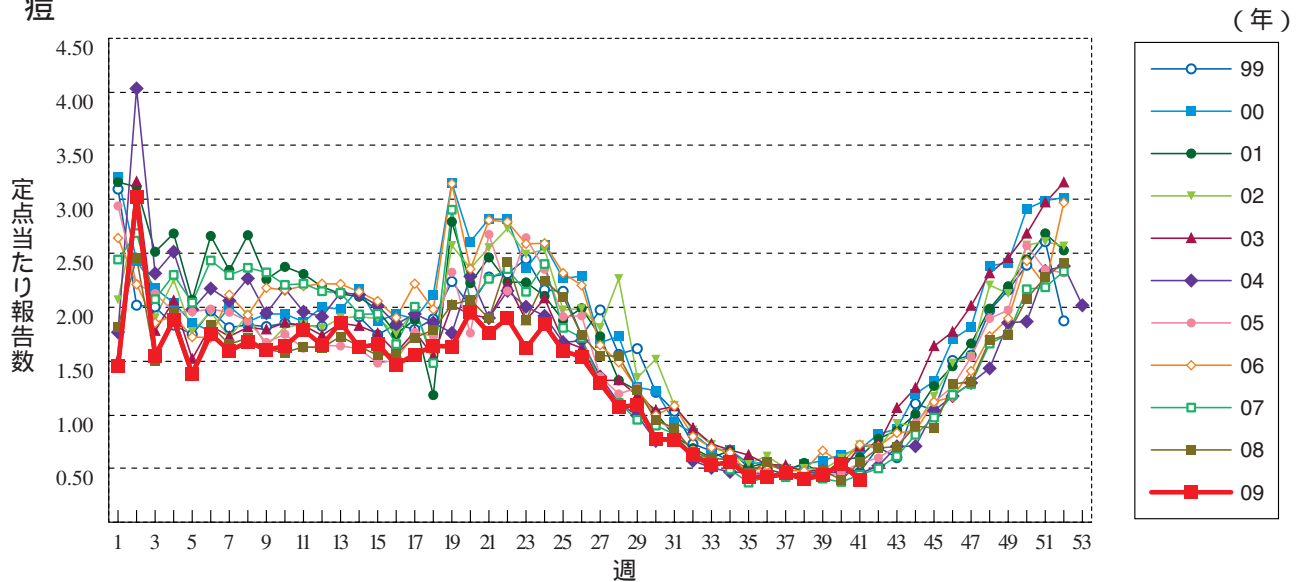
### A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



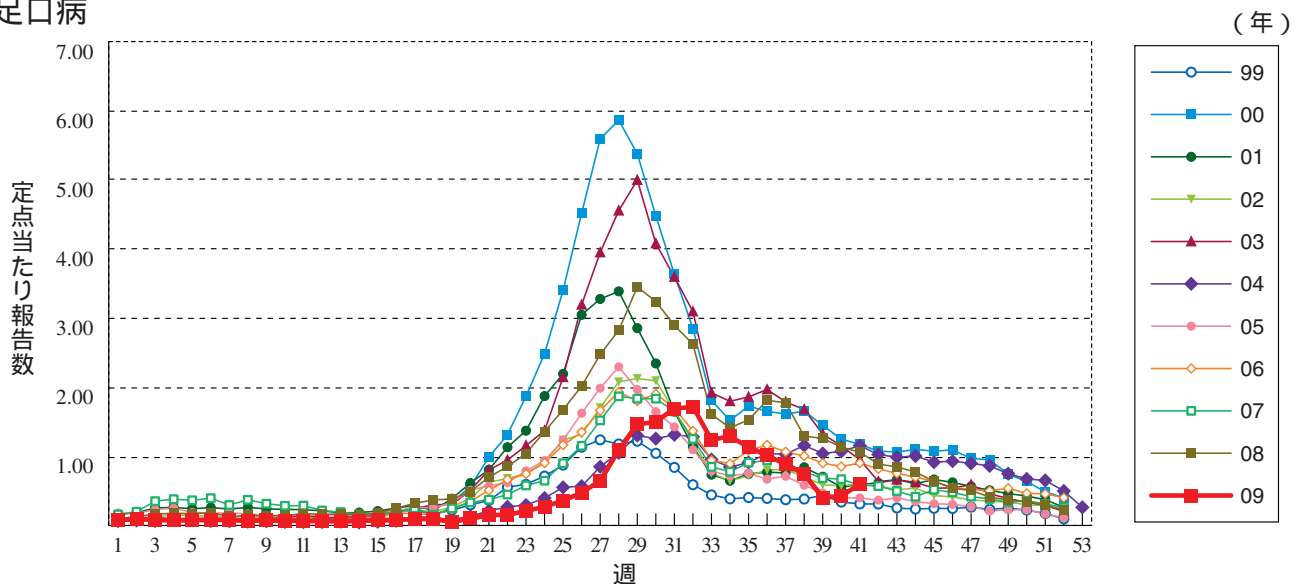
**感染性胃腸炎** 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



**水痘**

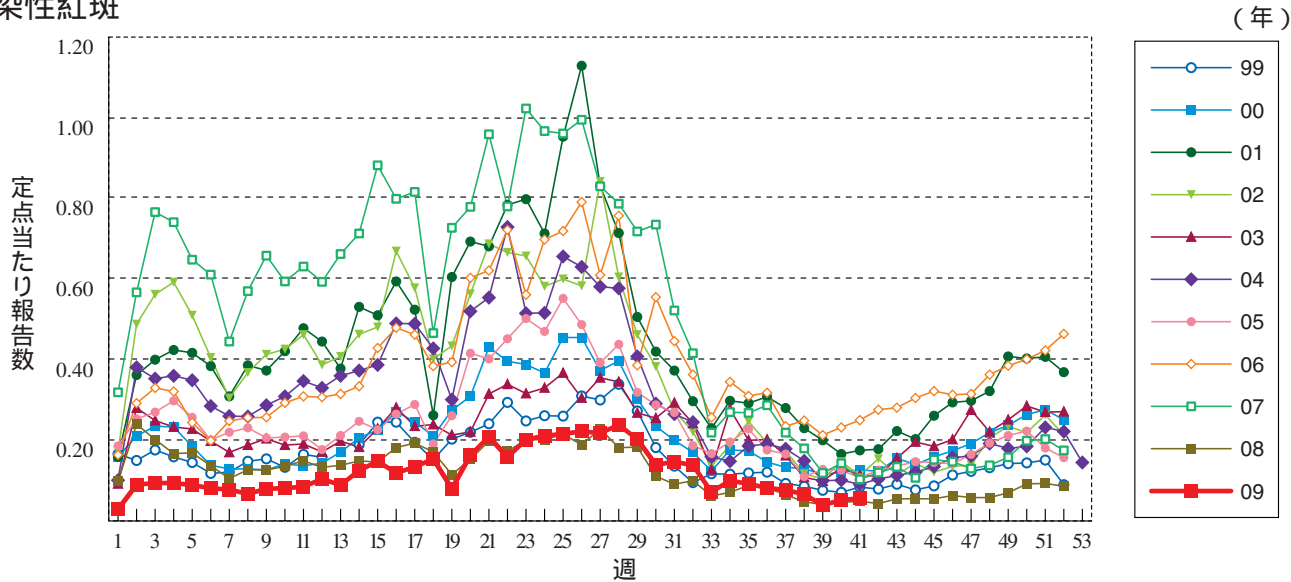


**手足口病**

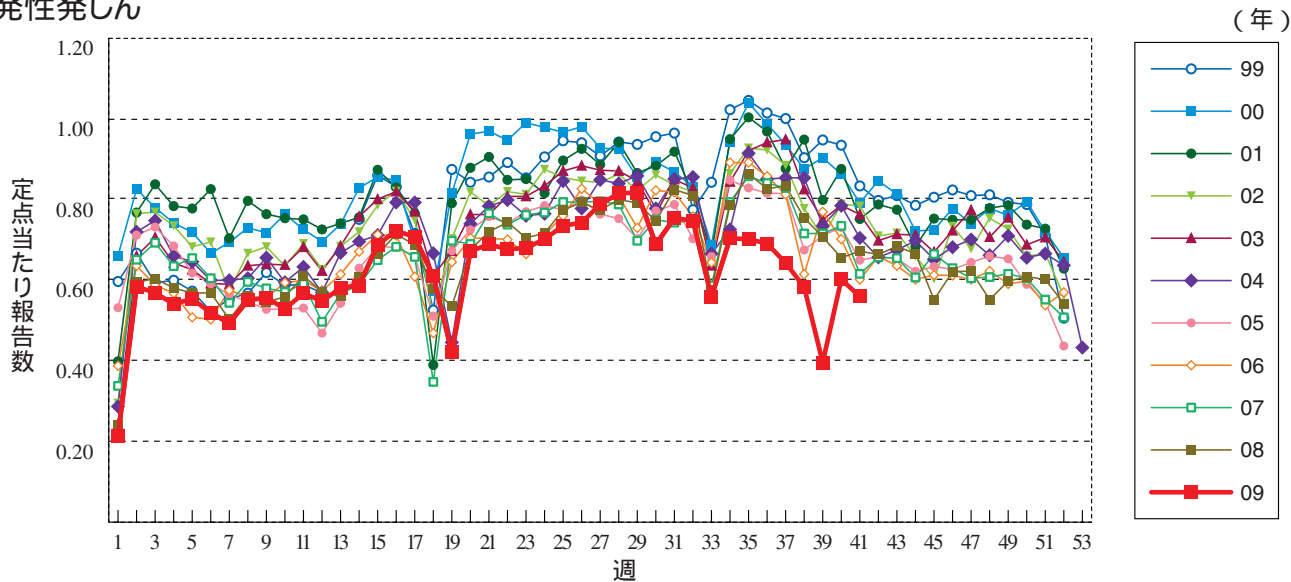




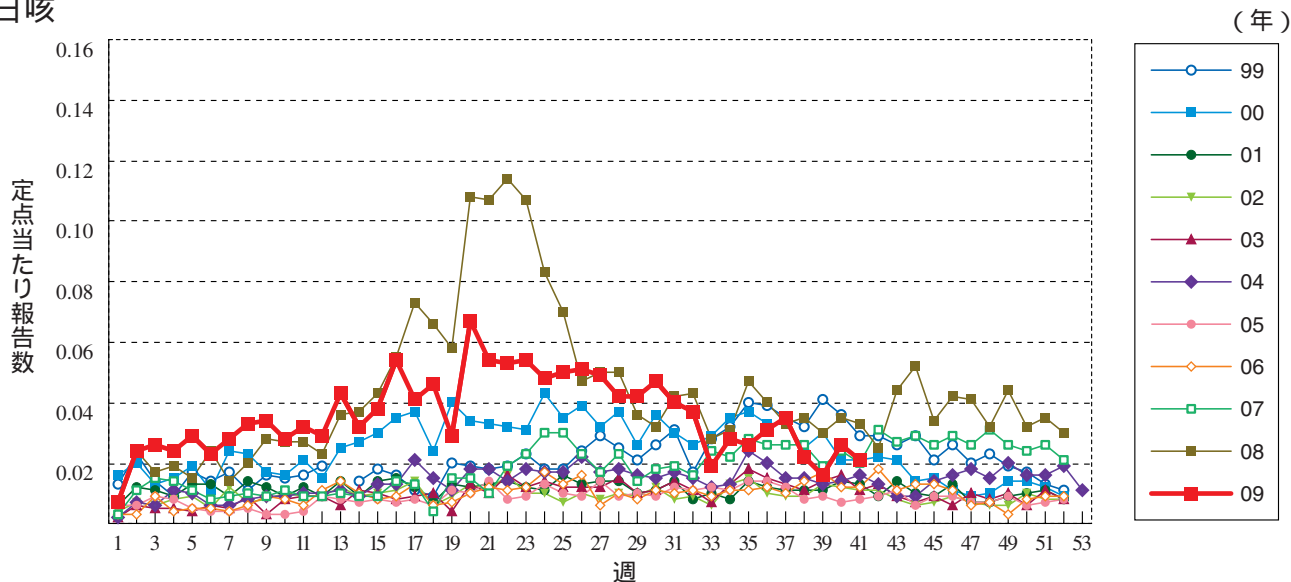
伝染性紅斑



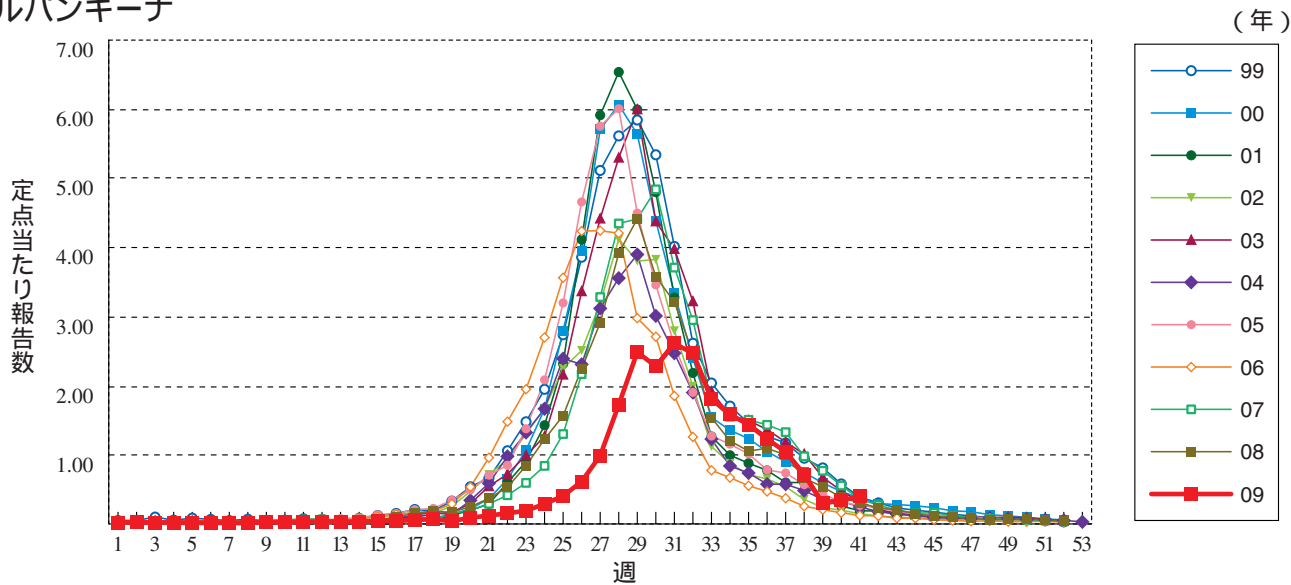
突発性発しん



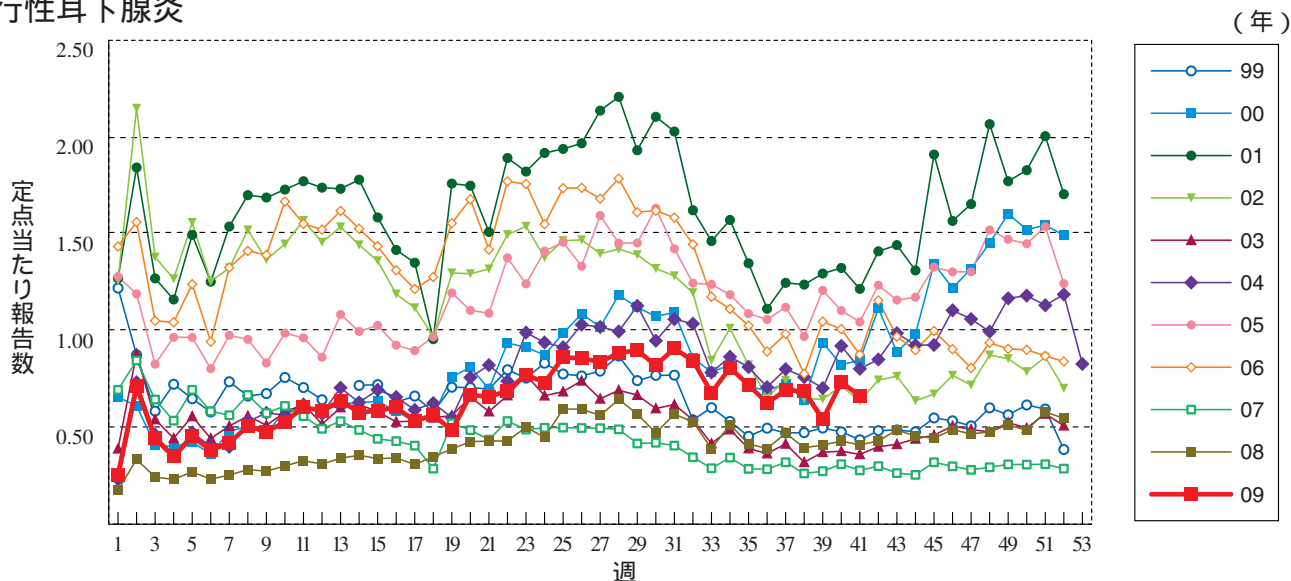
百日咳



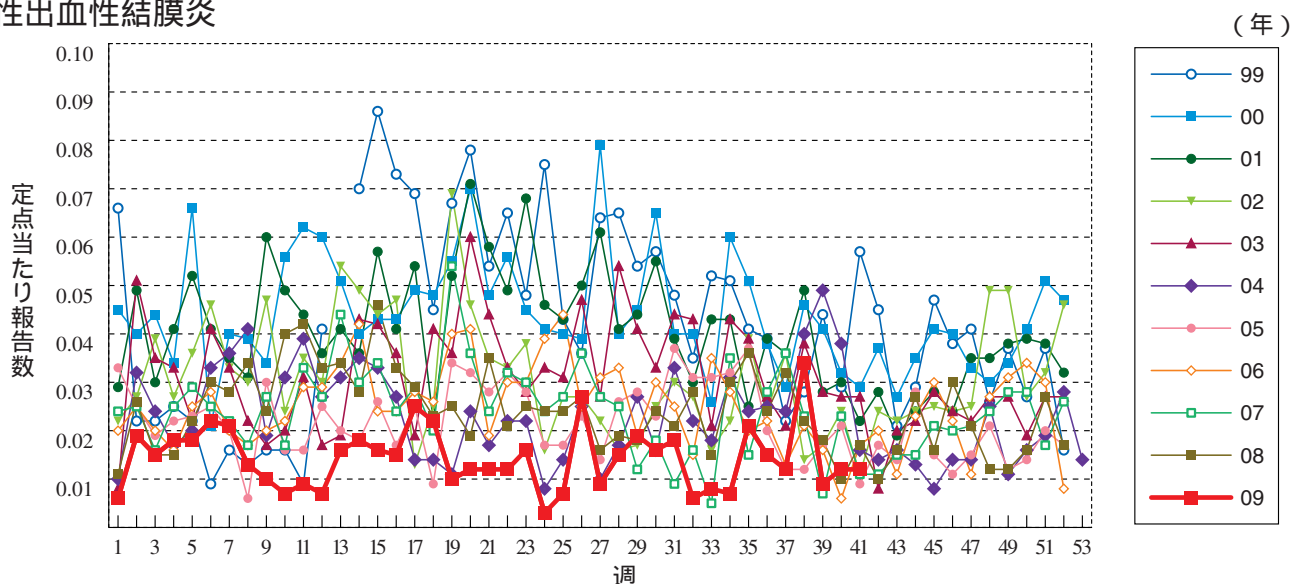
### ヘルパンギーナ



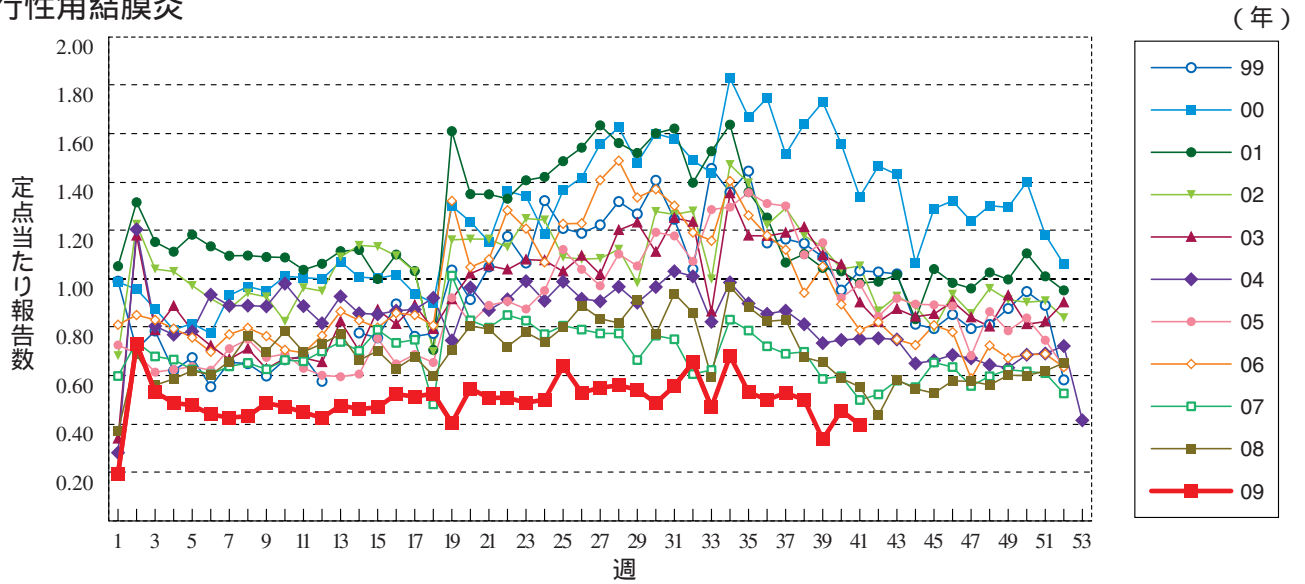
### 流行性耳下腺炎



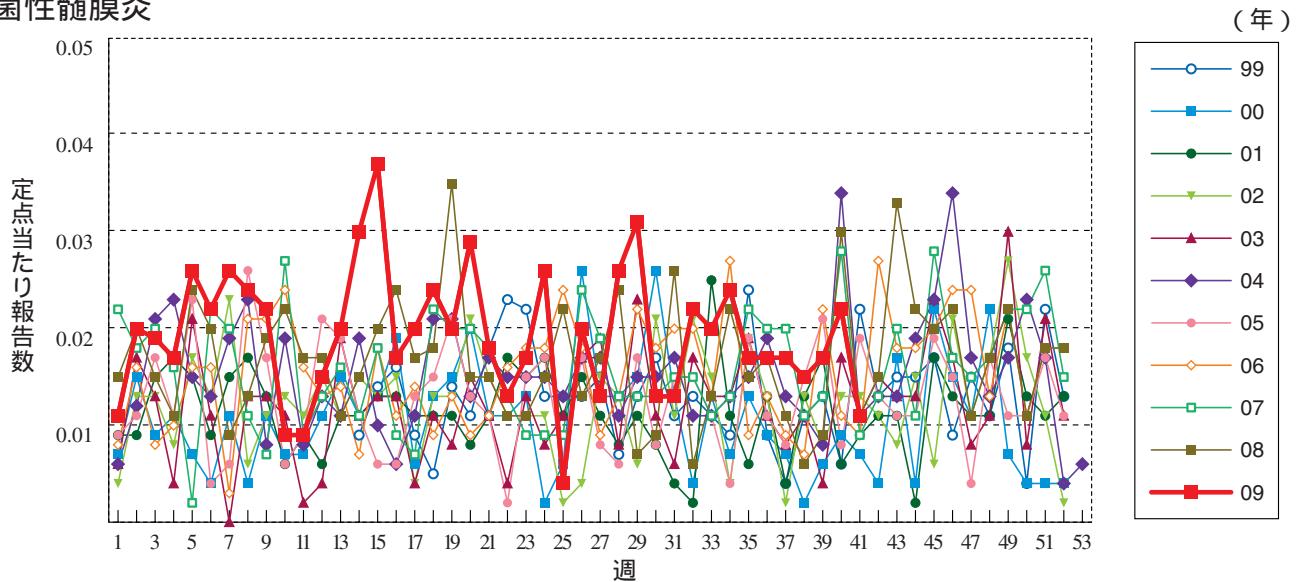
### 急性出血性結膜炎



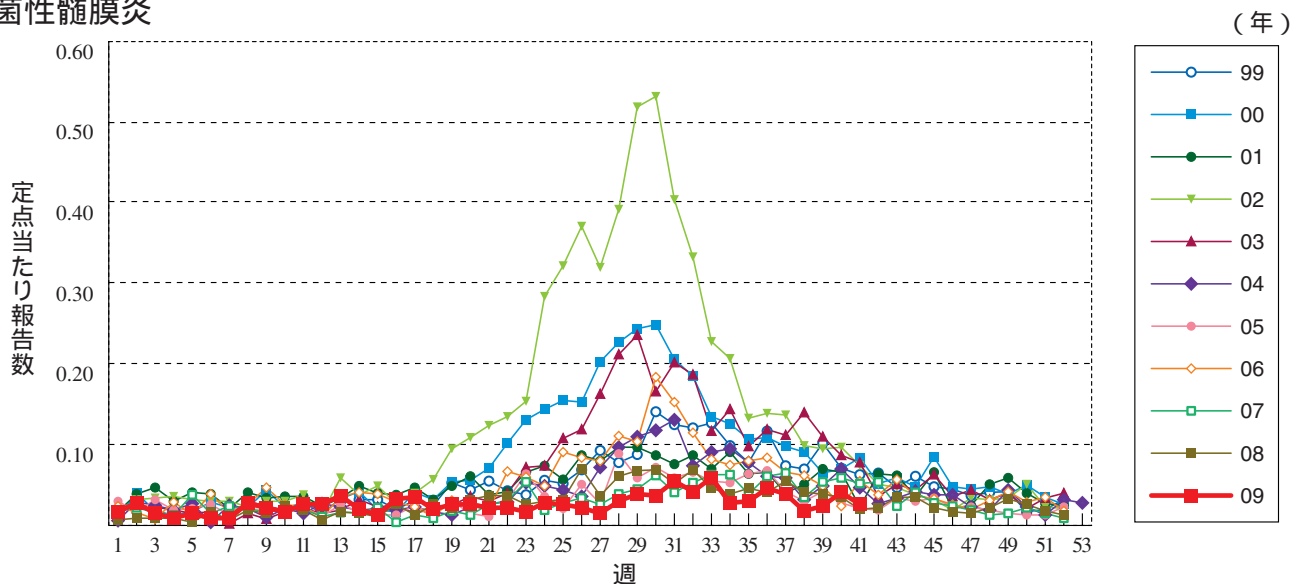
流行性角結膜炎



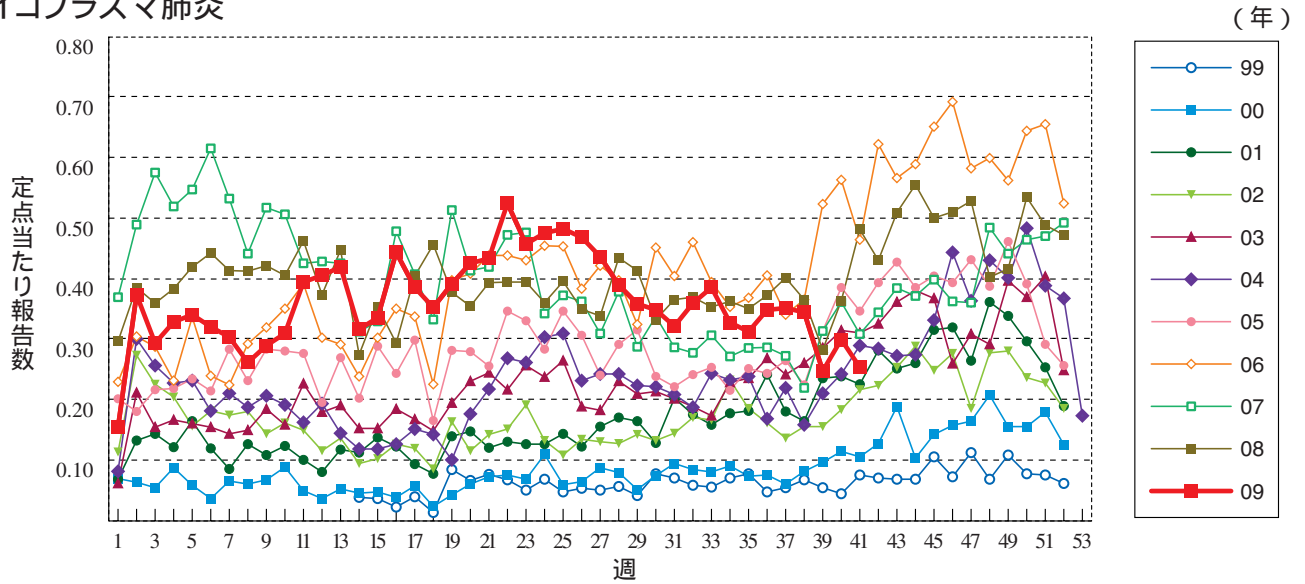
細菌性髄膜炎



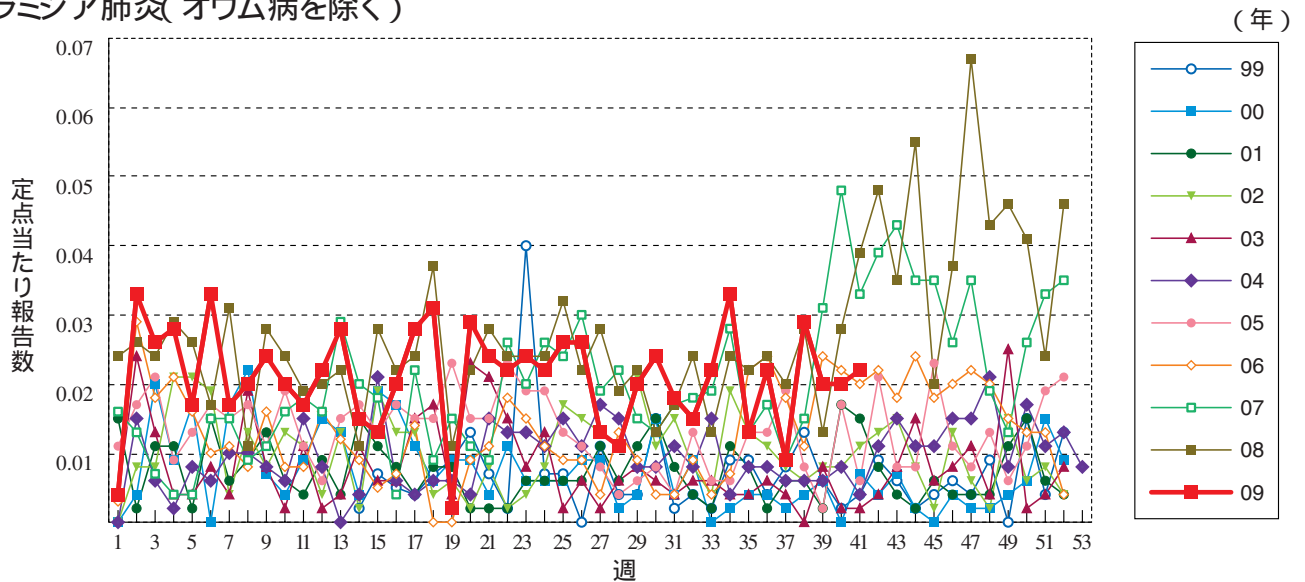
無菌性髄膜炎



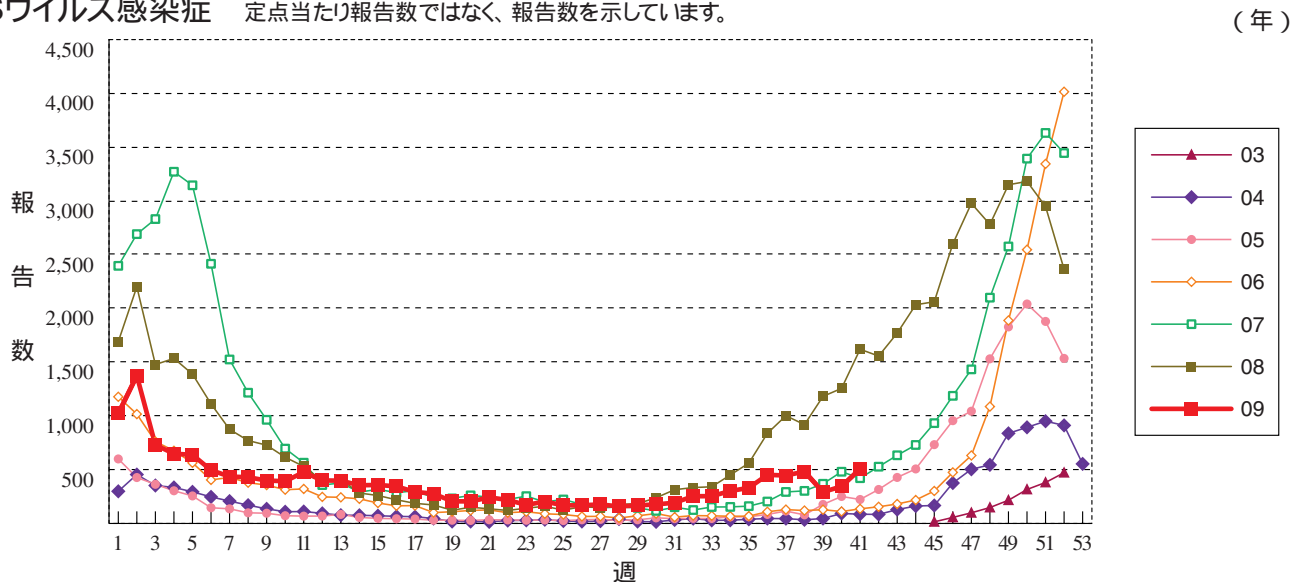
マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎(オウム病を除く)



RSウイルス感染症 定ポイントあたり報告数ではなく、報告数を示しています。





## 41週のデータ

注) 表中の報告数は10月14日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されず、  
 新型インフルエンザは掲載していません。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2009年41週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		痘 そう		南米出血熱		ペ ス ト		マールブルグ病		ラッサ熱		急性灰白髄炎		結 核	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	217	20375
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	604
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	268
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	143
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	250
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	124
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	149
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	218
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	371
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	234
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	126
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	958
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15	1140
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33	3118
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	21	1458
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	265
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	148
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	148
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	122
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	81
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	235
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	398
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	538
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	1588
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	306
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	207
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	510
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1100
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	697
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	248
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	223
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	70
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	124
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	291
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	456
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	222
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	157
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	186
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	213
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	129
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	885
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	159
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	282
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	289
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	213
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	204
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	290
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	230

\*病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2009年41週

	ジフテリア		重症急性 呼吸器症候群*		鳥インフル エンザ(H5N1)		コレラ		細菌性赤痢		腸管出血性 大腸菌感染症		腸チフス		パラチフス		E型肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	1	9	5	137	65	3093	-	22	1	18	-	38
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	79	-	1	-	-	-	10
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	32	-	1	-	-	-	1
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1	56	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	83	-	-	-	1	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	24	-	-	-	-	-	1
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	65	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	3	27	-	-	-	-	-	1
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	26	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	17	-	-	-	-	-	2
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	60	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	3	1	111	-	1	-	-	-	1
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	8	1	130	-	1	-	-	-	2
東京都	-	-	-	-	-	-	-	2	-	36	6	266	-	10	1	10	-	6
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	17	-	128	-	-	-	2	-	1
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	52	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	30	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	88	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	39	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	26	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	38	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	1	4	5	1	55	-	1	-	1	-	2
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	11	4	171	-	2	-	3	-	2
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	2	30	-	-	-	-	-	2
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	23	-	-	-	-	-	1
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	76	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	1	1	5	-	147	-	2	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	158	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	33	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	96	-	2	-	-	-	1
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	3	94	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	37	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	11	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	45	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	65	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	18	254	-	-	-	-	-	1
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	46	-	-	-	1	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	3	25	-	-	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	38	-	-	-	-	-	2
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	106	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	51	-	1	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	59	-	-	-	-	1
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	41	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2009年41週

	ウエストナイル熱		A型肝炎		エキノコックス症		黄熱		オウム病		オムスク出血熱		回帰熱		キャサナル森林病		Q熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	98	-	17	-	-	-	17	-	-	-	-	-	-	-	2
北海道	-	-	-	1	-	15	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	17	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
神奈川県	-	-	-	7	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	9	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	7	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
奈良県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2009年41週

	狂犬病		コクシジ オイデス症		サル痘		腎症候性出血熱		西部ウマ脳炎		ダニ媒介脳炎		炭疽		つつが虫病		デング熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	111	5	64
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	1
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	1
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	4
東京都	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	3	26
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	6
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-



\*鳥インフルエンザ H5N1 を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2009年41週

	東部ウマ脳炎		鳥インフルエンザ*		ニパウイルス感染症		日本紅斑熱		日本脳炎		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		鼻 疽		ブルセラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	5	76	1	1	-	-	-	-	-	-	1	2
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
千葉県	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	2	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	2	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2009年41週

	ペネズエラ ウマ脳炎		ヘンドラウイルス 感染症		発しんチフス		ポツリヌス症		マラリア		野 兎 病		ライム病		リッサウイルス 感染症		リフトバレー熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	2	51	-	-	-	5	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	1	24	-	-	-	1	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

\*E型肝炎およびA型肝炎を除く。

\*\*ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ペネズエラウマ脳炎およびリフトバレー熱を除く。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2009年41週

	類鼻疽		レジオネラ症		レプトスピラ症		ロッキー山紅斑熱		アメーバ赤痢		ウイルス性肝炎*		急性脳炎**		クリプトスポリジウム症		クロイツフェルト・ヤコブ病	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	2	518	-	12	-	-	9	618	1	172	7	215	1	13	1	102
北海道	-	-	-	18	-	-	-	-	-	16	-	2	-	2	-	2	-	1
青森県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	9	-	-
岩手県	-	-	-	10	-	-	-	-	-	5	-	1	-	5	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	13	-	-	-	-	1	13	-	6	-	-	-	-	-	2
秋田県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1
山形県	-	-	1	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	3
福島県	-	-	-	10	-	-	-	-	1	12	-	-	-	3	-	-	-	2
茨城県	-	-	-	11	-	-	-	-	-	5	-	2	-	7	-	-	-	2
栃木県	-	-	-	11	-	-	-	-	-	6	-	3	-	5	-	-	-	1
群馬県	-	-	-	10	-	-	-	-	1	6	-	5	-	3	-	-	-	2
埼玉県	-	-	-	20	-	-	-	-	-	24	-	11	-	13	-	-	-	4
千葉県	-	-	-	18	-	1	-	-	-	40	-	3	1	23	-	-	-	2
東京都	-	-	-	41	-	-	-	-	2	110	1	26	2	25	1	2	-	10
神奈川県	-	-	-	29	-	1	-	-	-	49	-	13	2	11	-	-	-	9
新潟県	-	-	-	17	-	1	-	-	-	6	-	-	1	10	-	-	-	2
富山県	-	-	-	16	-	-	-	-	-	5	-	1	-	2	-	-	-	-
石川県	-	-	-	16	-	-	-	-	-	8	-	-	-	1	-	-	-	-
福井県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	1	-	1	-	2	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	3	-	1	-	4	-	-	-	2
長野県	-	-	-	10	-	-	-	-	-	5	-	-	-	4	-	-	-	3
岐阜県	-	-	-	19	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	3
静岡県	-	-	-	21	-	-	-	-	-	11	-	5	-	2	-	-	1	4
愛知県	-	-	-	35	-	-	-	-	-	44	-	14	1	9	-	-	-	6
三重県	-	-	-	8	-	1	-	-	-	3	-	-	-	2	-	-	-	5
滋賀県	-	-	-	6	-	-	-	-	-	9	-	1	-	3	-	-	-	2
京都府	-	-	-	11	-	-	-	-	-	16	-	5	-	5	-	-	-	1
大阪府	-	-	-	25	-	-	-	-	-	73	-	13	-	33	-	-	-	7
兵庫県	-	-	-	28	-	-	-	-	3	34	-	12	-	1	-	-	-	2
奈良県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	9	-	1	-	-	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	8	-	-	-	-	-	8	-	1	-	1	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	3	-	1	-	1	-	-	-	-
島根県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	2	-	1	-	1	-	-	-	2
岡山県	-	-	-	10	-	-	-	-	-	16	-	8	-	2	-	-	-	3
広島県	-	-	-	17	-	-	-	-	-	8	-	11	-	6	-	-	-	4
山口県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	4	-	-	-	2	-	-	-	2
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	1
香川県	-	-	-	6	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	1
愛媛県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	4	-	3	-	-	-	-	-	1
高知県	-	-	-	5	-	-	-	-	1	2	-	2	-	3	-	-	-	1
福岡県	-	-	1	8	-	-	-	-	-	17	-	8	-	2	-	-	-	3
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
長崎県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	5	-	3	-	1	-	-	-	2
熊本県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-	-	2
大分県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	5	-	1	-	1	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	5	-	4	-	7	-	-	-	1
鹿児島県	-	-	-	6	-	1	-	-	-	1	-	-	-	6	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	7	-	7	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2009年41週

	劇症型溶血性 レンサ球菌感染症		後天性免疫不全 症候群		ジアルジア症		髄膜炎菌性 髄膜炎		先天性風しん 症候群		梅毒		破傷風		バンコマイシン耐性 黄色ブドウ球菌感染症		バンコマイシン耐性 腸球菌感染症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	87	10	1119	1	60	-	9	-	1	4	544	-	93	-	-	-	76
北海道	-	3	-	25	-	3	-	-	-	-	-	13	-	6	-	-	-	4
青森県	-	2	1	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	1
宮城県	-	-	-	5	-	1	-	-	-	-	-	13	-	3	-	-	-	-
秋田県	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-
山形県	-	-	-	3	-	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
福島県	-	2	-	5	-	-	-	-	-	-	1	5	-	1	-	-	-	1
茨城県	-	3	-	20	-	3	-	-	-	-	-	6	-	1	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	16	-	1	-	1	-	-	-	5	-	-	-	-	-	2
群馬県	-	3	-	12	-	-	-	-	-	-	-	5	-	1	-	-	-	-
埼玉県	-	5	1	27	-	-	-	-	-	-	1	15	-	2	-	-	-	6
千葉県	-	4	-	39	-	2	-	2	-	-	-	20	-	4	-	-	-	4
東京都	-	8	3	364	-	17	-	1	-	-	2	152	-	6	-	-	-	11
神奈川県	-	7	1	59	-	6	-	1	-	-	-	25	-	4	-	-	-	15
新潟県	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-	2
富山県	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
石川県	-	1	-	6	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	1
長野県	-	1	-	9	-	-	-	-	-	1	-	4	-	4	-	-	-	2
岐阜県	-	2	-	10	-	1	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	4	-	20	-	1	-	-	-	-	-	20	-	1	-	-	-	3
愛知県	-	8	-	70	-	1	-	1	-	-	-	32	-	4	-	-	-	1
三重県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	18	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	2	1	8	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-
京都府	-	1	-	21	-	1	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	5
大阪府	-	4	-	182	1	9	-	-	-	-	-	52	-	4	-	-	-	5
兵庫県	-	7	2	38	-	2	-	-	-	-	-	10	-	3	-	-	-	-
奈良県	-	4	-	12	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	2	-	3	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-
島根県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2	-	-	-	1
広島県	-	4	-	23	-	1	-	-	-	-	-	7	-	1	-	-	-	-
山口県	-	-	1	4	-	-	-	-	-	-	-	4	-	3	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
香川県	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2	-	-	-	-
愛媛県	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-
高知県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	1	-	38	-	2	-	2	-	-	-	42	-	3	-	-	-	8
佐賀県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-
長崎県	-	1	-	7	-	2	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	8	-	1	-	1	-	-	-	17	-	3	-	-	-	3
大分県	-	-	-	5	-	1	-	-	-	-	-	4	-	3	-	-	-	1
宮崎県	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	7	-	7	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	2	-	7	-	-	-	-
沖縄県	-	1	-	16	-	-	-	-	-	-	-	6	-	1	-	-	-	-

報告数・累積報告数，疾病・都道府県別 2009年41週

	風しん		麻疹	
	報告数	累積	報告数	累積
総 数	2	135	7	668
北海道	-	4	-	15
青森県	-	-	-	9
岩手県	-	-	-	2
宮城県	-	1	-	8
秋田県	-	1	-	-
山形県	-	-	-	7
福島県	-	2	-	9
茨城県	-	2	-	10
栃木県	-	2	-	11
群馬県	-	1	1	10
埼玉県	-	4	-	40
千葉県	-	10	-	97
東京都	2	17	1	100
神奈川県	-	12	-	89
新潟県	-	5	-	12
富山県	-	-	-	2
石川県	-	1	-	1
福井県	-	-	-	4
山梨県	-	-	-	1
長野県	-	-	-	13
岐阜県	-	2	-	7
静岡県	-	-	-	10
愛知県	-	10	-	26
三重県	-	2	-	2
滋賀県	-	2	-	7
京都府	-	1	-	10
大阪府	-	12	-	56
兵庫県	-	6	-	6
奈良県	-	2	-	3
和歌山県	-	3	-	7
鳥取県	-	-	-	2
島根県	-	1	-	1
岡山県	-	2	-	9
広島県	-	3	5	21
山口県	-	-	-	3
徳島県	-	-	-	1
香川県	-	-	-	5
愛媛県	-	-	-	6
高知県	-	1	-	-
福岡県	-	22	-	24
佐賀県	-	-	-	3
長崎県	-	-	-	3
熊本県	-	-	-	-
大分県	-	2	-	3
宮崎県	-	2	-	1
鹿児島県	-	-	-	7
沖縄県	-	-	-	5

\*鳥インフルエンザを除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2009年41週

	インフルエンザ*		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	61583	12.92	222	0.07	2346	0.78	7109	2.36	1195	0.40	1800	0.60	168	0.06	1686	0.56	62	0.02
北海道	8337	38.96	31	0.23	271	2.05	157	1.19	74	0.56	84	0.64	5	0.04	47	0.36	-	-
青森県	302	4.65	6	0.14	36	0.86	46	1.10	17	0.40	49	1.17	5	0.12	17	0.40	-	-
岩手県	353	5.52	2	0.05	19	0.48	74	1.85	29	0.73	17	0.43	-	-	11	0.28	1	0.03
宮城県	742	7.73	9	0.15	27	0.45	121	2.02	20	0.33	17	0.28	2	0.03	43	0.72	-	-
秋田県	577	10.49	5	0.14	44	1.26	61	1.74	17	0.49	30	0.86	-	-	18	0.51	-	-
山形県	48	1.00	1	0.03	48	1.60	59	1.97	11	0.37	105	3.50	2	0.07	24	0.80	1	0.03
福島県	301	3.76	-	-	29	0.60	82	1.71	21	0.44	41	0.85	4	0.08	40	0.83	-	-
茨城県	1121	9.34	3	0.04	55	0.73	104	1.39	30	0.40	62	0.83	5	0.07	14	0.19	1	0.01
栃木県	444	5.92	-	-	25	0.52	37	0.77	18	0.38	58	1.21	2	0.04	35	0.73	3	0.06
群馬県	648	6.48	2	0.03	36	0.58	179	2.89	15	0.24	13	0.21	4	0.06	39	0.63	1	0.02
埼玉県	4121	16.89	4	0.03	187	1.18	409	2.59	57	0.36	105	0.66	14	0.09	95	0.60	3	0.02
千葉県	3190	15.79	2	0.02	110	0.87	219	1.74	42	0.33	74	0.59	9	0.07	50	0.40	11	0.09
東京都	5371	18.98	6	0.04	105	0.72	312	2.15	49	0.34	106	0.73	16	0.11	81	0.56	4	0.03
神奈川県	6987	21.63	5	0.03	137	0.69	431	2.16	68	0.34	76	0.38	30	0.15	136	0.68	3	0.02
新潟県	443	4.57	10	0.16	75	1.23	93	1.52	20	0.33	55	0.90	7	0.11	29	0.48	1	0.02
富山県	93	1.94	7	0.24	45	1.55	131	4.52	13	0.45	13	0.45	-	-	8	0.28	-	-
石川県	86	1.79	5	0.17	16	0.55	87	3.00	17	0.59	10	0.34	-	-	11	0.38	-	-
福井県	83	2.59	1	0.05	23	1.05	116	5.27	12	0.55	15	0.68	-	-	12	0.55	-	-
山梨県	144	3.60	-	-	30	1.25	33	1.38	10	0.42	19	0.79	1	0.04	11	0.46	1	0.04
長野県	237	2.69	3	0.05	46	0.84	140	2.55	26	0.47	23	0.42	8	0.15	17	0.31	1	0.02
岐阜県	596	7.45	-	-	15	0.28	85	1.60	19	0.36	2	0.04	1	0.02	23	0.43	-	-
静岡県	711	5.39	4	0.05	92	1.08	200	2.35	22	0.26	14	0.16	1	0.01	47	0.55	-	-
愛知県	4562	23.52	13	0.07	102	0.57	388	2.16	70	0.39	13	0.07	4	0.02	101	0.56	1	0.01
三重県	797	11.07	-	-	16	0.36	156	3.47	19	0.42	1	0.02	2	0.04	36	0.80	-	-
滋賀県	506	9.73	-	-	9	0.29	118	3.81	6	0.19	8	0.26	1	0.03	12	0.39	-	-
京都府	1217	9.81	4	0.05	34	0.45	176	2.35	25	0.33	12	0.16	-	-	19	0.25	2	0.03
大阪府	5189	16.96	15	0.08	149	0.75	531	2.67	90	0.45	32	0.16	9	0.05	101	0.51	2	0.01
兵庫県	3259	16.54	9	0.07	59	0.46	365	2.87	31	0.24	22	0.17	6	0.05	52	0.41	1	0.01
奈良県	499	9.07	4	0.11	9	0.26	71	2.03	6	0.17	20	0.57	1	0.03	5	0.14	-	-
和歌山県	294	5.88	-	-	8	0.26	28	0.90	9	0.29	3	0.10	1	0.03	20	0.65	-	-
鳥取県	66	2.28	4	0.21	26	1.37	81	4.26	1	0.05	2	0.11	2	0.11	7	0.37	-	-
島根県	67	1.76	1	0.04	15	0.65	68	2.96	12	0.52	33	1.43	-	-	20	0.87	-	-
岡山県	272	3.24	7	0.13	17	0.31	170	3.15	24	0.44	4	0.07	-	-	25	0.46	-	-
広島県	619	5.43	9	0.13	50	0.70	198	2.79	33	0.46	34	0.48	1	0.01	40	0.56	10	0.14
山口県	146	2.06	2	0.04	117	2.34	141	2.82	27	0.54	5	0.10	2	0.04	41	0.82	1	0.02
徳島県	121	3.27	-	-	4	0.17	39	1.70	8	0.35	12	0.52	-	-	6	0.26	-	-
香川県	214	4.55	4	0.14	12	0.43	58	2.07	4	0.14	10	0.36	-	-	9	0.32	1	0.04
愛媛県	124	2.03	-	-	10	0.27	120	3.24	12	0.32	9	0.24	7	0.19	33	0.89	-	-
高知県	228	4.75	-	-	20	0.67	59	1.97	9	0.30	31	1.03	-	-	21	0.70	4	0.13
福岡県	4650	23.48	18	0.15	53	0.44	370	3.08	75	0.63	160	1.33	1	0.01	116	0.97	4	0.03
佐賀県	321	8.23	2	0.09	18	0.78	20	0.87	3	0.13	36	1.57	-	-	23	1.00	1	0.04
長崎県	693	9.90	1	0.02	25	0.57	63	1.43	15	0.34	68	1.55	4	0.09	38	0.86	-	-
熊本県	515	6.44	5	0.10	29	0.60	206	4.29	15	0.31	24	0.50	6	0.13	44	0.92	-	-
大分県	424	7.31	2	0.06	24	0.67	167	4.64	27	0.75	38	1.06	2	0.06	30	0.83	-	-
宮崎県	446	7.56	8	0.22	31	0.86	175	4.86	21	0.58	45	1.25	1	0.03	36	1.00	2	0.06
鹿児島県	289	3.14	6	0.11	30	0.56	140	2.59	31	0.57	37	0.69	2	0.04	34	0.63	1	0.02
沖縄県	1130	19.48	2	0.06	8	0.24	25	0.74	15	0.44	153	4.50	-	-	9	0.26	1	0.03

\*髄膜炎菌性髄膜炎は除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2009年41週

	ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎*		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎		RSウイルス感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	1204	0.40	2000	0.66	8	0.01	265	0.40	5	0.01	12	0.03	116	0.25	10	0.02	507	
北海道	84	0.64	84	0.64	-	-	5	0.22	-	-	-	-	8	0.36	-	-	27	
青森県	-	-	4	0.10	-	-	2	0.20	-	-	-	-	5	0.83	-	-	23	
岩手県	11	0.28	23	0.58	-	-	6	0.43	-	-	-	-	5	0.26	-	-	8	
宮城県	4	0.07	21	0.35	-	-	1	0.08	1	0.08	-	-	14	1.17	-	-	2	
秋田県	9	0.26	19	0.54	-	-	-	-	-	-	-	-	5	0.63	-	-	5	
山形県	15	0.50	81	2.70	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.20	-	-	12	
福島県	37	0.77	67	1.40	-	-	4	0.33	-	-	3	0.43	5	0.71	1	0.14	11	
茨城県	12	0.16	45	0.60	2	0.12	11	0.65	-	-	-	-	2	0.15	-	-	9	
栃木県	6	0.13	12	0.25	-	-	3	0.25	-	-	1	0.14	-	-	1	0.14	2	
群馬県	6	0.10	21	0.34	-	-	10	0.71	1	0.13	-	-	8	1.00	-	-	3	
埼玉県	32	0.20	99	0.63	-	-	17	0.40	-	-	-	-	7	0.78	-	-	3	
千葉県	31	0.25	124	0.98	1	0.03	18	0.58	-	-	-	-	1	0.13	3	0.38	6	
東京都	46	0.32	85	0.59	1	0.03	16	0.41	-	-	1	0.04	2	0.08	-	-	14	
神奈川県	58	0.29	118	0.59	1	0.03	26	0.68	-	-	-	-	-	-	-	-	15	
新潟県	43	0.70	47	0.77	-	-	3	0.33	-	-	-	-	3	0.25	4	0.33	11	
富山県	10	0.34	32	1.10	-	-	1	0.14	-	-	-	-	2	0.40	-	-	3	
石川県	19	0.66	19	0.66	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.40	-	-	4	
福井県	43	1.95	41	1.86	-	-	-	-	1	0.17	-	-	1	0.17	-	-	2	
山梨県	2	0.08	6	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長野県	53	0.96	11	0.20	-	-	2	0.18	-	-	1	0.09	-	-	-	-	-	
岐阜県	3	0.06	21	0.40	-	-	3	0.27	-	-	-	-	2	0.40	-	-	8	
静岡県	30	0.35	32	0.38	-	-	3	0.15	-	-	-	-	3	0.30	-	-	3	
愛知県	25	0.14	68	0.38	-	-	4	0.12	-	-	1	0.07	6	0.40	-	-	9	
三重県	19	0.42	16	0.36	-	-	-	-	1	0.11	-	-	-	-	-	-	11	
滋賀県	9	0.29	12	0.39	-	-	1	0.13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
京都府	18	0.24	30	0.40	-	-	8	0.44	-	-	-	-	-	-	-	-	5	
大阪府	41	0.21	161	0.81	-	-	10	0.19	-	-	-	-	2	0.14	-	-	49	
兵庫県	33	0.26	45	0.35	-	-	9	0.26	-	-	-	-	-	-	-	-	8	
奈良県	5	0.14	46	1.31	-	-	2	0.22	1	0.17	1	0.17	-	-	-	-	-	
和歌山県	36	1.16	23	0.74	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.09	-	-	5	
鳥取県	6	0.32	3	0.16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	
島根県	7	0.30	7	0.30	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
岡山県	2	0.04	12	0.22	-	-	10	0.83	-	-	1	0.20	-	-	-	-	10	
広島県	25	0.35	67	0.94	-	-	31	1.63	-	-	2	0.10	2	0.10	-	-	19	
山口県	58	1.16	21	0.42	-	-	2	0.22	-	-	-	-	3	0.33	-	-	9	
徳島県	18	0.78	15	0.65	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	
香川県	29	1.04	10	0.36	-	-	2	0.67	-	-	-	-	-	-	-	-	5	
愛媛県	11	0.30	16	0.43	-	-	7	0.88	-	-	-	-	5	0.83	-	-	4	
高知県	96	3.20	9	0.30	-	-	2	0.67	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
福岡県	37	0.31	129	1.08	-	-	11	0.42	-	-	-	-	1	0.07	-	-	35	
佐賀県	16	0.70	28	1.22	-	-	-	-	-	-	-	-	4	0.67	-	-	10	
長崎県	16	0.36	66	1.50	2	0.25	3	0.38	-	-	-	-	-	-	-	-	22	
熊本県	23	0.48	39	0.81	-	-	11	1.22	-	-	-	-	2	0.13	-	-	36	
大分県	34	0.94	57	1.58	-	-	3	0.60	-	-	-	-	-	-	-	-	3	
宮崎県	14	0.39	32	0.89	-	-	11	1.83	-	-	1	0.14	-	-	-	-	41	
鹿児島県	29	0.54	17	0.31	-	-	3	0.43	-	-	-	-	1	0.08	-	-	41	
沖縄県	43	1.26	59	1.74	1	0.10	3	0.30	-	-	-	-	12	1.71	1	0.14	1	

## 獣医師が届出を行う感染症と対象動物

注 報告数は感染実験等の学術的研究による発生を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2009年41週

	エボラ出血熱		マールブルグ病		ペスト		重症急性呼吸器症候群( SARS )						結核		鳥インフルエンザ( H5N1 )		細菌性赤痢	
	サル		サル		プレーリードッグ	イタチアナグマ		タヌキ		ハクビシン		サル		鳥類		サル		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-



報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別 2009年41週

	ウエストナイル熱		エキノコックス症	
	鳥類		犬	
	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-

感染症週報 第11巻 第41号 2009年10月23日発行  
 発行：国立感染症研究所  
 厚生労働省健康局結核感染症課  
 厚生労働省大臣官房統計情報部  
 事務局：国立感染症研究所感染症情報センター  
 〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1  
 T E L : 03-5285-1111  
 F A X : 03-5285-1129  
 U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>  
 < 国立感染症研究所 感染症情報センター >  
<http://www.mhlw.go.jp/>  
 < 厚生労働省 >  
<http://www.forth.go.jp/>  
 < 旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所) >

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。